

令和4年度

大空町教育委員会の活動状況に
関する点検・評価報告書

令和5年9月

大空町教育委員会

は じ め に

～ 事務の点検・評価の意義及び取組について ～

今日、教育を取り巻く環境がめまぐるしく変化する中で、教育委員会においては、責任体制の明確化や体制の充実を図り、教育行政の中心的な担い手としてその役割を果たしていくことが求められています。

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

このことを受け、大空町教育委員会としては、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、教育委員会の事務の管理・執行状況について、毎年度、点検・評価を行い、報告書を作成し平成20年度分から公表しています。

令和4年度は、過去2年度と同様に新型コロナウイルス感染症対策による事業の中止、縮小などを余儀なくされておりますが、教育委員会が行った活動状況や各種教育計画の実施状況について点検・評価を行い、成果や課題と課題解決に向けた取組の方向性を分かりやすく記述しました。

大空町教育委員会としては、『北海道教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書』を参考に、点検・評価の実施方法及び報告書の様式について改善・充実を図りながら、平成30年度に策定した「第2次大空町教育推進計画」に基づく教育施策の着実な推進に努めてまいりたいと考えておりますので、町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年9月

大空町教育委員会

目 次

第1部 教育委員会の活動状況

1	教育長及び教育委員	1
2	教育委員会の会議等の開催状況	2
(1)	教育委員会会議と付議された案件等	2
(2)	教育委員会協議会の開催状況	6
3	条例・規則等の制定、計画等の策定状況	8
(1)	条例、規則、要綱、要領・規程	8
(2)	主な計画等の策定状況	9
4	教育委員会委員の活動状況	10
5	教育関係機関等の活動状況	11
6	学校に対する指導・助言・指示等の状況	12
(1)	通知・通達等（主なもの）	12
(2)	校長・園長会議及び教頭会議における示達等	16
7	町民に対する情報提供	19
8	令和4年度教育関係予算の最終状況	20
9	令和4年度教育関係予算の主な事業に係る最終予算	21

第2部 学校教育活動に係る反省・評価

1	令和4年度大空町教育推進方針に係る反省・評価	24
2	幼稚園・各小中高等学校における反省・評価	31

第3部 社会教育活動に係る反省・評価

1	令和4年度大空町教育推進方針に係る反省・評価	32
2	令和4年度大空町社会教育推進計画に係る反省・評価	38

第1部 教育委員会の活動状況

1 教育長及び教育委員

教育長及び教育委員は、下記の表のとおりとなっている。

役 職	委 員 名	任 期	期
教 育 長	関 谷 正 樹	令和 4 年6月 1日～令和 6 年6月11日	I 期
教育委員 (教育長職務代理者)	神 田 靖 治	平成24年6月12日～平成28年6月11日 平成28年6月12日～令和 2 年6月11日 令和 2 年6月12日～令和 6 年6月11日	I 期 II 期 III 期
教育委員	三 浦 裕 幸	平成29年6月12日～令和 3 年6月11日 令和 3 年6月12日～令和 7 年6月11日	I 期 II 期
教育委員	矢 浪 亜由美	平成30年6月12日～令和 4 年6月11日 令和 4 年6月12日～令和 8 年6月11日	I 期 II 期
教育委員	山 神 勇 二	令和 3 年6月24日～令和 5 年6月11日	I 期

*令和5年3月31日現在

2 教育委員会の会議等の開催状況

(1) 教育委員会会議と付議された案件等

教育委員会会議は、原則として公開であるが、個人情報に係る案件は非公開としている。また、会議は毎月1回を定例としているが、急な案件がある場合は随時開催している。

*回数は、年度初めの4月から年度末の3月までの開催回数を表記。出席数には、教育長を含む。

回数	開催年月日	出席数	開催場所	付議案件（報告、議案、その他）	公開別	結果
第1回	令和4年4月13日	5名	東藻琴総合支所委員会室			
				〔議案〕 <ul style="list-style-type: none"> ・大空町学校運営協議会委員の任命について ・大空町社会教育委員の委嘱について ・大空町図書館協議会委員の任命について ・大空町青少年健全育成指導員の任命について ・大空町生涯学習奨励員の委嘱について ・大空町スポーツ推進委員の委嘱について ・大空町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について ・令和4年度大空町教育推進方針について ・大空町通級指導教室通級に係る児童の認定について 	公開 公開 公開 公開 公開 公開 公開 公開 非公開	議決 議決 議決 議決 議決 議決 議決 議決 議決
第2回	令和4年6月9日	5名	東藻琴総合支所委員会室			
				〔報告〕 <ul style="list-style-type: none"> ・大空町教育委員会事務局職員の任免について ・令和4年度大空町一般会計補正予算（第1号）のうち教育委員会関係補正予算（第1号）について 〔議案〕 <ul style="list-style-type: none"> ・大空町学校運営協議会委員の任命について ・大空町青少年健全育成指導員の任命について ・大空町文化財保護審議会委員の委嘱について ・大空町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について ・奨学金の貸付について ・修学旅行の引率業務等に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する訓令制定について ・令和4年度大空町一般会計補正予算（第2号）のうち教育委員会関係補正予算（第2号）について 	公開 公開 公開 公開 非公開 公開 公開	議決 議決 議決 議決 議決 議決 議決

第3回	令和4年7月12日	5名	東藻琴総合支所委員会室		
〔報告〕 ・工事請負契約の締結について ・工事請負契約の締結について ・工事請負契約の締結について 〔議案〕 ・大空町立小中学校教育用モバイルルーター等貸与要綱の制定について ・大空町要保護及び準要保護児童生徒等就学援助要綱の一部を改正する告示制定について ・令和4年度大空町教育委員会事務局の経営方針について				公開 公開 公開	議決 議決 議決
第4回	令和4年8月23日	5名	東藻琴総合支所委員会室		
〔報告〕 ・令和5年度北海道大空高等学校において使用する教科用図書について 〔議案〕 ・令和5年度に使用する小学校用及び中学校用教科用図書並びに令和5年度使用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について ・大空町立高等学校学則の一部を改正する規則制定について ・令和4年度全国学力・学習状況調査結果公表方針について ・令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果公表方針について ・大空町通級指導教室通級に係る児童の認定について ・令和3年度大空町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について				公開 公開 公開 公開 公開 公開	議決 議決 議決 議決 議決 議決
第5回	令和4年9月16日	5名	東藻琴総合支所委員会室		
〔報告〕 ・令和4年度大空町一般会計補正予算（第3号）のうち教育委員会関係補正予算（第3号）について 〔議案〕 ・大空町教育支援委員会委員の解嘱について ・大空町教育支援委員会委員の委嘱について ・大空町通学路安全推進会議設置要綱の制定について ・大空町通級指導教室通級に係る児童の認定について				公開 公開 公開 非公開	議決 議決 議決 議決

第6回	令和4年11月24日	5名	東藻琴総合支所委員会室		
〔議案〕 ・大空町教育委員会事務局職員の任免について				公開	議決
第7回	令和4年12月15日	5名	東藻琴総合支所委員会室		
〔議案〕 ・北海道大空高等学校寄宿舎条例の一部を改正する条例制定について ・北海道大空高等学校寄宿舎条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・北海道大空高等学校交流拠点施設条例制定について ・北海道大空高等学校交流拠点施設条例施行規則制定について ・令和4年度大空町立中学校特別支援学級入級に係る生徒の就学認定について ・令和4年度大空町一般会計補正予算（第5号）のうち教育委員会関係補正予算（第4号）について				公開 公開 公開 公開 非公開 公開	議決 議決 議決 議決 議決 議決
第8回	令和5年1月18日	5名	東藻琴総合支所委員会室		
〔報告〕 ・指定管理者の指定について 〔議案〕 ・令和5年度学校給食費の額の決定について ・大空町入学資金借入金利子等助成の認定について ・令和5年度大空町立小中学校特別支援学級入級に係る児童・生徒の就学認定について				公開 公開 非公開 非公開	議決 議決 議決
第9回	令和5年2月27日	5名	東藻琴総合支所委員会室		
〔議案〕 ・大空町通級指導教室通級に係る児童の認定について ・令和5年度大空町立小中学校特別支援学級入級に係る児童・生徒の就学認定について ・令和4年度大空町一般会計補正予算（第6号）のうち教育委員会関係補正予算（第5号）について ・令和5年度大空町一般会計予算のうち教育委員会関係予算について				非公開 非公開 公開 公開	議決 議決 議決 議決

第10回	令和5年3月30日	5名	東藻琴総合支所委員会室		
〔議案〕					
・学校職員人事異動の内申について				公 開	議決
・大空町教育委員会事務局職員の任免について				公 開	議決
・大空町学校歯科医の委嘱について				公 開	議決
・修学旅行の引率業務等に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する訓令制定について				公 開	議決
・大空町教育委員会の所管に属する大空町個人情報保護条例施行規則を廃止する規則制定について				公 開	議決
・大空町立学校管理規則の一部を改正する規則制定について				公 開	議決
・大空町教育委員会職員の勤務時間、休暇等に関する規則の一部を改正する規則制定について				公 開	議決
・大空町立高等学校通学区域規則の一部を改正する規則制定について				公 開	議決
・北海道大空高等学校国内外留学支援事業補助金交付要綱の制定について				公 開	議決
・大空町立学校体育文化振興補助要綱の一部を改正する告示制定について				公 開	議決
・北海道大空高等学校職員の人事評価に関する要綱の一部を改正する告示制定について				公 開	議決
・北海道大空高等学校教育職員の昇給及び勤勉手当に係る取扱要綱の一部を改正する告示制定について				公 開	議決
・北海道大空高等学校4年生国内国外研修事業補助要綱を廃止する告示制定について				公 開	議決
・北海道大空高等学校国内研修事業補助要綱を廃止する告示制定について				公 開	議決
・大空町高等学校制服購入費補助要綱を廃止する告示制定について				公 開	議決
・大空町高等学校生徒寄宿舎受入補助金交付要綱を廃止する告示制定について				公 開	議決
・オープンスクール道外参加者助成金交付要綱を廃止する告示制定について				公 開	議決
・大空町立学校職員服務規程の一部を改正する訓令制定について				公 開	議決
・北海道大空高等学校事務専決及び代決規程の一部を改正する訓令制定について				公 開	議決
・大空町通級指導教室通級に係る児童の認定について				非公開	議決

(2) 教育委員会協議会の開催状況

教育委員会協議会は、重要案件に係る協議や教育委員相互の意見交換の場として、必要に応じて非公開で開催している。

回数	開催年月日	開催場所	出席数	公開別
1	令和4年6月9日	東藻琴総合支所委員会室	5名	非公開
	〔協議題〕 ・モバイルルーター貸与事業の実施に伴う関係例規の整備について ・大空高等学校交流拠点施設整備事業について ・女満別図書館大規模改修工事について ・令和4年度大空町教育行政執行方針について			
2	令和4年8月23日	東藻琴総合支所委員会室	5名	非公開
	〔協議題〕 ・大空町立高等学校学則の一部を改正する規則の制定について ・令和4年度全国学力・学習状況調査結果公表方針について ・大空町図書館に関する計画の策定について			
3	令和4年9月16日	東藻琴総合支所委員会室	5名	非公開
	〔協議題〕 ・大空町通学路安全推進会議設置要綱の制定について ・大空高等学校交流拠点施設について ・令和5年度大空高校学校入学者選抜試験について ・令和4年度全国学力・学習状況調査結果について			
4	令和4年10月27日	東藻琴総合支所委員会室	5名	非公開
	〔協議題〕 ・北海道大空高等学校交流拠点施設条例の制定及び北海道大空高等学校寄宿舎条例の一部改正について ・大空高等学校と地域との関わりについて ・東藻琴学校給食センター給食の提供中止について			
5	令和4年11月24日	東藻琴総合支所委員会室	5名	非公開
	〔協議題〕 ・大空町図書館に関する計画（素案）の概要について ・大空高等学校農業施設等の活用について ・令和5年度学校給食費の単価改定(案)について			
6	令和5年1月18日	東藻琴総合支所委員会室	5名	非公開
	〔協議題〕 ・みらいハイスクール構想について			

	令和5年2月27日	東藻琴総合支所委員会室	5名	非公開
7	〔協議題〕 ・女満別小学校教職員の処分について ・令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について ・大空町教育委員会学校訪問報告書について ・大空町立学校職員服務規程の一部改正について ・修学旅行の引率等に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部改正について ・大空高等学校国内外留学支援事業補助金交付要綱について ・大空高等学校定時制課程の廃止等に伴う例規整理について ・大空町図書館に関する計画のパブリックコメント結果について			
	令和5年3月30日	東藻琴総合支所委員会室	5名	非公開
8	〔協議題〕 ・修学旅行の引率業務等に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する訓令制定について ・大空町教育委員会の所管に属する大空町個人情報保護条例施行規則を廃止する規則制定について ・令和5年度東藻琴小学校新入学児童の食物アレルギー対応経過について			

※出席数には、教育長を含む。

3 条例・規則等の制定、計画等の策定状況

令和4年度中に制定された条例は2件、規則は6件、要綱は12件、要領・規程は3件である。

(1) 条例、規則、要綱、要領・規程

類別	題 名	公布年月日	施行年月日
条例	・北海道大空高等学校寄宿舎条例の一部を改正する条例制定について	R 4. 12. 21	R 4. 12. 21
	・北海道大空高等学校交流拠点施設条例制定について	R 4. 12. 21	R 5. 4. 1
規則	・大空町立高等学校学則の一部を改正する規則制定について	R 4. 8. 31	R 5. 4. 1
	・北海道大空高等学校寄宿舎条例施行規則の一部を改正する規則制定について	R 4. 12. 21	R 4. 12. 21
	・北海道大空高等学校交流拠点施設条例施行規則制定について	R 4. 12. 21	R 5. 4. 1
	・大空町立学校管理規則の一部を改正する規則制定について	R 5. 3. 31	R 5. 4. 1
	・大空町教育委員会職員の勤務時間、休暇等に関する規則の一部を改正する規則制定について	R 5. 3. 31	R 5. 4. 1
	・大空町立高等学校通学区域規則の一部を改正する規則制定について	R 5. 3. 31	R 5. 4. 1
要綱	・大空町立学校 I C T 教育推進委員会設置要綱の制定について	R 4. 4. 1	R 4. 4. 1
	・大空町要保護及び準要保護児童生徒等就学援助要綱の一部を改正する告示制定について	R 4. 7. 12	R 4. 7. 12
	・大空町立小中学校教育用モバイルルーター等貸与要綱の制定について	R 4. 7. 12	R 4. 7. 12
	・大空町通学路安全推進会議設置要綱の制定について	R 4. 9. 16	R 4. 9. 16
	・大空町高等学校生徒寄宿舎受入補助金交付要綱を廃止する告示制定について	R 5. 3. 31	R 5. 4. 1
	・オープンスクール道外参加者助成金交付要綱を廃止する告示制定について	R 5. 3. 31	R 5. 4. 1
	・北海道大空高等学校国内外留学支援事業補助金交付要綱の制定について	R 5. 3. 31	R 5. 4. 1
	・大空町立学校体育文化振興補助要綱の一部を改正する告示制定について	R 5. 3. 31	R 5. 4. 1
	・北海道大空高等学校職員の人事評価に関する要綱の一部を改正する告示制定について	R 5. 3. 31	R 5. 4. 1
	・北海道大空高等学校4年生国内国外研修事業補助要	R 5. 3. 31	R 5. 4. 1

	綱を廃止する告示制定について ・北海道大空高等学校国内研修事業補助要綱を廃止する告示制定について ・大空町高等学校制服購入費補助要綱を廃止する告示制定について	R 5. 3. 31	R 5. 4. 1
		R 5. 3. 31	R 5. 4. 1
要領 規程	・修学旅行の引率業務等に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する訓令制定について ・大空町立学校職員服務規程の一部を改正する訓令制定について ・北海道大空高等学校事務専決及び代決規程の一部を改正する訓令制定について	R 4. 6. 9	R 4. 6. 9
		R 5. 3. 31	R 5. 4. 1
		R 5. 3. 31	R 5. 4. 1

(2) 主な計画等の策定状況

年月日	計 画 等 名
H21. 3. 30	大空町教育推進計画（平成21～30年度）
H28. 3. 28	大空町いじめ防止基本方針
H30. 3. 5	大空町図書館第3期5ヶ年計画（平成30～34年度）
H30. 3. 5	大空町第3次子どもの読書活動推進計画（平成30～34年度）
H31. 4. 1	第2次大空町教育推進計画（平成31～35年度）
R 3. 1. 25	大空町社会教育中期計画（令和3～5年度）
R 3. 3. 18	大空町学校施設等長寿命化計画（令和3～12年度）
R 4. 4. 1	令和4年度大空町社会教育推進計画
R 4. 4. 13	令和4年度大空町教育推進方針
R 5. 3. 30	大空町図書館第4期5ヶ年計画（令和5～9年度）
R 5. 3. 30	大空町第4次子どもの読書活動推進計画（令和5～9年度）

4 教育委員会委員の活動状況

教育委員会委員は、教育委員会会議や教育委員協議会のほか、オホーツク管内及び網走ブロック教育委員会協議会の総会・研修会、町内の各幼稚園や各小中高等学校の入学式・卒業式への参列、学校視察などの活動をしている。

開催年月日	開催場所	出席委員数	備 考
令和 4年 4月 4日	東藻琴農村環境改善センター	5名	学校職員辞令交付式
令和 4年 7月 7日	網走市	2名	オホーツク管内教育委員会協議会総会
令和 4年 7月14日 ～ 令和 4年 7月15日	札幌市	4名	北海道市町村教育委員会研修会・視察研修
令和 5年 1月 8日	大空町教育文化会館	1名	はたちのつどい
令和 5年 1月13日	網走市	5名	オホーツク管内市町村教育委員大会
令和 5年 1月27日 ～ 令和 5年 2月 3日	各幼稚園・学校	5名	各幼稚園・小中高等学校の視察
令和 5年 3月16日	町 内	4名	大空高等学校交流拠点施設見学
令和 5年 3月23日	東藻琴総合支所	5名	大空町総合教育会議
令和 5年 3月23日	町 内	5名	大空町教育懇話会

※出席委員数には教育長を含む。

※新型コロナウイルス感染予防対策により、各認定こども園・小中学校の卒業式・入学式への参列は中止となった。

5 教育関係機関等の活動状況

条例等の規定に基づいて委嘱又は任命された委員で構成する教育関係機関等においては、様々な活動がなされている。

機 関 名 等	委員数	主な審議事項及び活動内容
大空町社会教育委員	16	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度大空町社会教育推進計画の策定と令和3年度事業の反省評価について 社会教育中期計画の策定について
大空町教育支援委員会	11	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級入級並びに特別支援学校入学に係る児童生徒の就学の認定について
大空町学校給食センター運営委員会	11	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度学校給食費収支決算について 令和5年度学校給食費の単価改定について
大空町スポーツ推進委員	20	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度事業計画について 各種社会体育事業の主催・支援・協力について 自主研修の実施について
大空町青少年健全育成指導員会	11	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度実績報告及び令和4年度活動計画について 大空町青少年健全育成町民会議との連携について
大空町図書館協議会	5	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度大空町図書館事業実績報告について 令和3年度図書館運営に関する評価について 令和4年度大空町図書館事業計画について
大空町青少年問題協議会	16	<ul style="list-style-type: none"> 青少年の状況と育成環境について 青少年の健全育成・指導等について 青少年健全育成関係機関・団体の取組について
大空町生涯学習奨励員協議会	14	<ul style="list-style-type: none"> 大空町検定の企画・運営について 大空町探索会の企画・運営について 町民の生涯学習活動支援について 町民大学講座の企画・運営について
大空町学校運営協議会	30	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営に関する基本方針について 東藻琴小・中学校運営協議会 女満別小・中学校運営協議会
大空町文化財保護審議会	10	<ul style="list-style-type: none"> 大空町文化財指定要綱及び大空町文化財指定基準の制定について 大空町郷土資料の今後の展示・保管方法について

6 学校に対する指導・助言・指示等の状況

学校に対する指導・助言・指示等は、通知・通達等によるほか、定例の校長・園長会議や教頭会議も含めて年間を通して行っている。また、事案の発生等に応じて、随時の指導・助言・指示も行っている。

(1) 通知・通達等（主なもの）

年月日	件名
R4. 4. 1	オホーツク管内学力向上支援事業「オールオホーツクで学力向上を！」の実施について
R4. 4. 1	令和4年度全国学力・学習状況調査について
R4. 4. 1	令和4年度オホーツク管内教育推進の取組及び令和4年度オホーツク管内教育推進の重点の送付について
R4. 4. 1	令和4年度学校教育指導について
R4. 4. 1	令和4年度義務教育指導監学校経営指導訪問等の実施について
R4. 4. 1	令和4年度「特別支援学級設置学校における学校教育指導」について
R4. 4. 1	「北海道ケアラー支援条例」の制定について
R4. 4. 1	令和4年度オホーツク管内指導主事派遣に係る要請について
R4. 4. 5	令和4年度全国学力・学習状況調査の実施に係る定時報告について
R4. 4. 5	令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実施について
R4. 4. 5	「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」の改訂について
R4. 4. 5	学校職員の不祥事の再発防止に向けた取組について
R4. 4. 6	新学期における新型コロナウイルス感染症対策の徹底について
R4. 4. 7	要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援学校教育就学奨励費補助金交付要綱の一部改正について
R4. 4. 8	大空町学力・体力向上プランの送付について
R4. 4. 14	令和4年度大空町教育推進方針について
R4. 4. 15	学校における新型コロナウイルス感染症対策について
R4. 4. 19	北海道新型コロナウイルス感染症対策本部会議における決定事項について
R4. 4. 26	部活動等における感染症対策の徹底について
R4. 5. 13	熱中症事故の防止について
R4. 5. 16	児童生徒のための相談窓口「おなやみポスト」の実施について
R4. 5. 19	修学旅行中における新型コロナウイルス感染症への対応について
R4. 5. 20	水泳等の事故の防止について
R4. 5. 26	学校生活における児童生徒のマスク着用について
R4. 6. 6	児童生徒の自殺予防に係る取組について
R4. 6. 8	ヤングケアラー専門相談窓口「北海道ヤングケアラー相談サポートセンター」の開設について
R4. 6. 10	夏季における児童生徒のマスクの着用について
R4. 6. 10	教職員の服務規律の保持について

R4. 6. 13	いじめに係るアンケート調査の実施について
R4. 6. 22	教育施設においてプール活動を行う場合の事故防止について
R4. 6. 24	教育活動における公務災害の防止等について
R4. 6. 29	「いじめに対する意識アンケート」調査の結果について
R4. 6. 30	令和4年度どさん子アップチャレンジの実施について
R4. 6. 30	令和4年度「青少年の非行・被害防止道民総ぐるみ運動強調月間」について
R4. 6. 30	不登校の早期発見・早期対応に向けた児童生徒への支援状況の把握について
R4. 7. 4	通学路における交通安全確保の徹底について
R4. 7. 8	夏季休業に向けての児童生徒の指導等について
R4. 7. 14	児童生徒の見守りと心のケアについて
R4. 7. 15	教職員の服務規律の保持について
R4. 7. 19	夏季休業期間中の新型コロナウイルス感染症対策について
R4. 7. 21	夏山登山の事故防止について
R4. 7. 28	熱中症対策の強化について
R4. 7. 29	遊泳事故防止に係る対策について
R4. 8. 1	ヤングケアラー支援に係るオンデマンド研修の実施について
R4. 8. 8	「北海道シェイクアウト」の実施について
R4. 8. 24	学校で児童生徒等や教職員の新型コロナウイルス感染が確認された場合の対応ガイドラインの改訂について
R4. 8. 24	新型コロナウイルス感染症対策リーフレットの周知について
R4. 8. 25	夏季休業明けにおける新型コロナウイルス感染症対策について
R4. 8. 26	修学旅行等の実施について
R4. 9. 1	北海道新型コロナウイルス感染症対策本部における決定事項について
R4. 9. 13	令和6年度全国学力・学習状況調査の予定について
R4. 9. 13	学校生活におけるバス利用に当たっての児童生徒の安全管理の徹底について
R4. 9. 29	令和4年度オホーツク管内教育推進の取組に係る評価について
R4. 9. 30	新型コロナウイルス感染症に関する臨時休業等の状況報告について
R4. 9. 30	新型コロナウイルス感染症の全数届出の見直しに伴う出席停止等の措置について
R4. 10. 5	弾道ミサイル発射に伴う児童生徒等の安全確保について
R4. 10. 7	令和5年度全国学力・学習状況調査の中学校英語「話すこと」調査に関する説明会の開催について
R4. 10. 7	北海道自転車条例に基づく自転車の安全利用について
R4. 10. 20	児童生徒の自殺予防に係る取組について
R4. 10. 26	新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行も見据えた今後の感染対策について
R4. 10. 27	令和4年度義務教育指導監学校経営指導について
R4. 11. 4	不登校児童生徒への支援について
R4. 11. 30	体罰等に係る実態把握について
R4. 11. 30	「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」の変更について
R4. 11. 30	北海道新型コロナウイルス感染症対策本部における決定事項について
R4. 12. 2	冬季休業に向けての児童生徒の指導等について

R4. 12. 7	令和5年度全国学力・学習状況調査の実施について
R4. 12. 9	いじめの問題への対応について
R4. 12. 9	教職員の服務規律の保持について
R4. 12. 19	冬季休業中の新型コロナウイルス感染症対策について
R4. 12. 19	冬季休業中の部活動における新型コロナウイルス感染症対策について
R4. 12. 19	年末年始における感染拡大防止に向けた取組について
R4. 12. 27	令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の活用促進について
R5. 1. 11	学校における新型コロナウイルス感染症対策について
R5. 1. 16	学校におけるアレルギー対応について
R5. 1. 17	冬季休業明けの学校における新型コロナウイルス感染症対策について
R5. 1. 19	令和4年度オホーツク管内教育推進の取組に係る評価について
R5. 1. 20	暴風雪等により入学者選考検査の開始時刻を遅らせる場合の周知方法について
R5. 1. 25	令和5年度高等学校入学者選抜について
R5. 2. 2	令和5年度非行防止教室等の実施について
R5. 2. 6	学校における新型コロナウイルス感染症対策について
R5. 2. 8	いじめ問題への的確な対応に向けた警察との連携等の徹底について
R5. 2. 8	職員の飲酒運転再発防止の徹底について
R5. 2. 10	令和4年度「オホーツク管内教育推進の取組」について
R5. 2. 15	「感染症に強い学校」の実現に向けた取組の推進について
R5. 2. 16	令和4年度町内学校における卒業式の対応について
R5. 2. 20	教育課程の適切な編成・実施について
R5. 2. 21	学年末から学年始めにかけての児童生徒の指導等について
R5. 2. 27	性的マイノリティに係る児童生徒へのきめ細かな対応について
R5. 2. 28	学校における安全管理の徹底について
R5. 3. 2	自殺対策強化月間及び新年度に向けた自殺予防に係る児童生徒や学生等への文部科学大臣メッセージについて
R5. 3. 6	いのちを支える自殺対策の推進のために3大臣からのメッセージの送付について
R5. 3. 10	保護者向け資料「警察と連携した『いじめ問題』への対応」について
R5. 3. 13	いじめの問題への対応について
R5. 3. 14	児童生徒の自転車乗車用ヘルメット着用に向けた指導について
R5. 3. 14	「いじめに対する意識アンケート」調査の結果について
R5. 3. 16	不登校児童生徒への支援について
R5. 3. 22	新学期以降の学校におけるマスク着用の考え方の見直し等について
R5. 3. 23	いじめ重大事態に関する国への報告について
R5. 3. 27	令和5年度「1日防災学校」の実施について
R5. 3. 29	警察による学校安全の確保に向けた対策に対する支援等の推進について
R5. 3. 29	令和4年度「1日防災学校実践事例」について
R5. 3. 30	令和5年度「若年層の性暴力被害予防月間」の実施について
R5. 3. 31	令和4年度自殺予防教育プログラムの実施報告書について
R5. 3. 31	北海道いじめ防止基本方針の改定について

(2) 校長会議及び教頭会議における示達等

校長会議は、各小中高等学校の校長と認定こども園の園長が参加して原則月1回開催している。教頭会議は、各小中高等学校の教頭が参加して原則月1回開催している。両会議の内容はほぼ同様のため、ここでは校長会議における主な示達内容を掲載する。

開催年月日	主 な 示 達 等
R 4. 4. 4 (第1回)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策について
R 4. 4. 18 (第2回)	<ul style="list-style-type: none"> ・オホーツク管内市町村教育長会議におけるオホーツク教育局からの指示事項等について ・令和4年度大空町教育経営計画書「大空町の教育」の発行について ・令和4年度学校職員人事評価制度の実施について ・校内外の教育環境整備について ・3月の学校経営報告書の交流について
R 4. 5. 25 (第3回)	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言を踏まえた学校における新型コロナウイルス感染症策について ・令和4年6月期における勤勉手当の給与決定手続について ・4月の学校経営報告書の交流について
R 4. 6. 20 (第4回)	<ul style="list-style-type: none"> ・校長・教頭の15か条 ・学校生活におけるマスクの着用について ・いじめの対応について ・学習用端末（クロームブック）の活用について ・小中一貫教育の導入に向けて ・学校における働き方改革について ・5月の学校経営報告書の交流について
R 4. 8. 29 (第5回)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症への対応に関する留意事項について ・大空町立学校における児童生徒等及び教職員に新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対応について ・令和4年度当初人事異動に係る校長・教頭人事面談の実施について ・6、7月の学校経営報告書の交流について
R 4. 10. 14 (第6回)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染の患者に対する療養期間解除後の登校について ・令和5年度全国学力・学習状況調査の実施に係る学習eポータルを選択について ・令和4年度「英検 ESG」実施要綱 ・弾道ミサイル発射に伴う児童生徒等の安全確保について ・8、9月の学校経営報告書の交流について

R 4. 11. 17 (第7回)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染と季節性インフルエンザの同時流行も見据えた今後の感染対策について ・抗原検査キットの取扱いについて ・令和4年度全国学力・学習状況調査について ・学校におけるICT活用の推進について ・教職員の服務規律の厳正な保持について ・部活動の地域移行について ・令和4年度義務教育指導監第2回学校経営指導（計画訪問）について ・令和4年度オホーツク管内市町村教育委員会教育長研修会でのオホーツク教育局の特別講演の資料について ・10月の学校経営報告書の交流について
R 4. 12. 27 (第8回)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症について ・部活動の地域移行について ・大空町小中一貫教育について ・小学校社会科副読本について ・11月の学校経営報告書の交流について
R 5. 2. 13 (第9回)	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季休業明けの学校における新型コロナウイルス感染症対策について ・オホーツク管内市町村教育委員会教育長会議について ・令和4年度義務教育指導監学校経営指導訪問等の実施状況について ・全国学力・学習状況調査について ・文部科学省CTBシステム（MEXCTB）について ・小学校における外国語の授業改善に向けた「英語ESD」の実施について ・いじめの問題への対応について ・生徒指導提要の改訂について ・卒業式・入学式について ・各教科等の標準授業時間数の確保について ・令和5年度当初人事について ・12、1月の学校経営報告書の交流について
R 5. 3. 6 (第10回)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症について ・令和5年度教職員等の人事について ・市町村立学校職員の異動に伴う人事評価シートの引継ぎについて ・入学式について ・2月の学校経営報告書の交流について

7 町民に対する情報提供

町民の公益に係る情報や教育委員会の活動に対する理解の促進及び学習情報の提供等に資するため、以下の情報提供を行っている。

(1) 情報の提供

情報誌等関係	掲載内容
広報『おおぞら』及び『まちのおしらせ』への掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・各種学校教育支援制度等の情報 ・各種社会教育事業の情報 ・大空町B & G海洋センターの情報 ・マラソン大会の情報 ・社会教育関係団体の情報 ・大空町図書館の情報 ・大空町内高等学校の情報 ・小学校入学児童の紹介 ・北海道学校給食コンクール東藻琴優秀賞受賞 ・文化公演の案内 ・町民文化祭の案内 ・各種募集案内 ・奨学生の募集
町ホームページへの掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次大空町教育推進計画 ・大空町社会教育中期計画 ・大空町図書館第3期5ケ年計画 ・大空町第3次子どもの読書活動推進計画 ・大空町学校施設等長寿命化計画 ・大空町いじめ防止基本方針
学校ホームページへの掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高等学校の教育活動

(2) 図書館閲覧

令和4年度大空町教育経営計画書『大空町の教育』（9月発行）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度大空町教育推進の概要（教育推進方針、主な教育予算及び事業、事務局の組織図及び事務分掌 など） ・令和4年度大空町社会教育推進計画 ・幼稚園及び各小中高等学校の学校経営の概要 ・生涯学習、スポーツ施設利用案内 ・大空町の教育の歩み ・大空町の各種委員・教育関係団体・施設 など
-------------------------------	--

(3) 郷土資料館閲覧

女満別地区郷土資料台帳	<ul style="list-style-type: none"> ・女満別郷土資料館に保存・展示されている物品についての写真と説明文を掲載
東藻琴地区郷土資料台帳	<ul style="list-style-type: none"> ・東藻琴ふるさと資料館に保存・展示されている物品についての写真と説明文を掲載
大空町郷土資料台帳	<ul style="list-style-type: none"> ・女満別地区郷土資料台帳と東藻琴地区郷土資料台帳に掲載されている物品の内から重複しているものを除き、全町分を1冊にまとめて掲載

8 令和4年度教育関係予算の最終状況

令和4年度教育関係の最終予算は、1,591,279(1,536,714)千円で、前年度から3.5%(5千4百万円)の増となっている。

主な要因は、女満別図書館の大規模改修等による6千6百万円の増、認定こども園開園による幼稚園費4百万円の減などによるものである。

(千円)

項 及 び 目	予 算 額	項 及 び 目	予 算 額
【民生費】	39	5 社会教育費	219,274
2 児童福祉費	39	(1) 社会教育総務費	70,709
(1) 児童福祉総務費	39	(2) 青少年教育費	3,359
【農林水産業費】	13,438	(3) 芸術文化振興費	2,942
1 農業費	13,438	(4) 図書館費	124,645
(3) 農業振興費	13,438	(5) 社会教育施設費	17,619
【教育費】	1,420,040	8 保健体育費	260,739
1 教育総務費	43,242	(1) 保健体育総務費	8,113
(1) 教育委員会費	1,528	(2) 体育施設費	125,461
(2) 事務局費	29,605	(3) 給食センター費	127,165
(3) 奨学金	1,625	【職員給与費】	157,762
(4) 教員住宅費	1,403	1 職員給与費	157,762
(5) 国際教育推進費	9,081	(1) 職員給与費	116,206
2 小学校費	74,597	(2) 会計年度任用職員費	41,556
(1) 学校管理費	50,854		
(2) 教育振興費	23,743		
3 中学校費	142,473		
(1) 学校管理費	39,694		
(2) 教育振興費	18,370		
(3) スクールバス運行費	84,409		
4 高等学校費	679,715		
(1) 高等学校管理費	44,556		
(2) 教育振興費	21,746		
(3) 高等学校実習費	20,920		
(4) 寄宿舎費	592,493		
		計	1,591,279

9 令和4年度教育関係予算の主な事業に係る最終予算

(千円)

事業名	事業費(千円)	主な事業内容
児童福祉費		
◇児童福祉総務費	39	・青少年問題協議会委員報酬
農業費		
◇農村環境改善センター管理費	13,438	・農村環境改善センター管理運営費(指定管理)
教育総務費		
◇教育委員会費	1,528	・教育委員の活動
◇事務局費	29,605	・網走東学区高等学校等への通学費等の経費助成 ・中体連等への参加経費補助 ・学校図書館司書の配置 ・ファームスクールの実施 ・学校教育研究会への補助 ・GIGAスクール事業(教育用端末機器整備、校内通信ネットワーク整備、通信環境整備費補助等) ・学校運営協議会委員報酬 ・学校教育施設建設基金積立金 ・子ども未来づくり教育基金積立金
◇奨学金貸付等事業	1,625	・経済的に就学困難な者への奨学金貸付 ・入学資金利子等への助成 ・奨学金返済支援
◇教員住宅費	1,403	・教員住宅管理費
◇国際教育推進費	9,081	・語学指導外国青年の招致 ・外国語指導助手の配置
小学校費		
◇女満別小学校管理運営事業	33,333	・小学校管理運営費
◇東藻琴小学校管理運営事業	17,521	・小学校管理運営費
◇小学校教育振興事業	19,345	・要保護・準要保護世帯及び特別支援教育を要する児童世帯への就学援助 ・学校給食費への補助(無償化)
◇女満別小学校教育振興事業	2,604	・教科書の改訂、教科用、実験実習用教材文具等の整備
◇東藻琴小学校教育振興事業	1,794	・教科書の改訂、教科用、実験実習用教材文具等の整備
中学校費		
◇女満別中学校管理運営事業	20,765	・中学校管理運営費
◇東藻琴中学校管理運営事業	18,929	・中学校管理運営費
◇中学校教育振興事業	14,364	・要保護・準要保護世帯及び特別支援教育を要する生徒世帯への就学援助 ・学校給食費への補助(無償化)
◇女満別中学校教育振興事業	2,293	・教科用、実験実習用教材文具等の整備

◇東藻琴中学校教育振興事業	1, 713	・教科用、実験実習用教材文具等の整備
◇スクールバス運行事業	84, 409	・スクールバス運営費
高等学校費		
◇大空高等学校管理運営事業	44, 556	・高等学校管理運営費
◇大空高等学校教育振興事業	21, 746	・研修活動補助費 ・高校魅力化推進 ・高等学校制服購入費補助
◇大空高等学校実習事業	20, 920	・実習運営費
◇大空高等学校寄宿舎管理事業	592, 493	・寄宿舎管理運営費 ・高等学校寄宿舎整備事業
社会教育費		
◇社会教育総務事業	70, 709	・大空町青少年育成協会への補助（事業実施等） ・社会教育委員の活動 ・子育て支援活動 ・生涯学習の推進 ・教育文化合宿補助 ・女性教育振興 ・高齢者教育振興 ・豊住交流センター管理運営費
◇青少年教育事業	3, 359	・青少年各種研修会への参加 ・子ども会活動及び少年教育活動への補助 ・子ども放課後週末活動支援 ・青年団体協議会活動への支援 ・青年団体連携会議への支援 ・青少年健全育成指導員の活動
◇芸術文化振興事業	2, 942	・町民作品展への活動支援 ・文化団体協議会への活動支援 ・文化財保全活動 ・文化財保護審議会委員の活動
◇図書館事業	124, 645	・図書館管理運営費（指定管理） ・図書館運営協議会委員の活動 ・女満別図書館大規模改修工事 ・女満別図書館エレベーター改修工事
◇社会教育施設事業	17, 619	・研修会館管理運営費（指定管理） ・伝承館管理運営費（指定管理） ・生涯学習センター管理運営費 ・ふるさと資料館管理費 ・山園ふるさとセンター管理費

保健体育費		
◇保健体育総務事業	8, 113	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員報酬 ・スポーツ活動振興 ・スポーツ協会への活動支援 ・スポーツ少年団への活動支援 ・スポーツ大会等への参加経費補助 ・総合型地域スポーツクラブ支援
◇体育施設事業	125, 461	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設一般管理費 ・武道館管理費 ・屋外ゲートボール場管理費 ・艇庫管理費 ・すぱーく東藻琴管理費 ・スキー場管理費 ・多目的運動広場管理費 ・ゲートボールセンター管理費（指定管理） ・B&G海洋センター管理費（指定管理） ・東藻琴相撲場管理費
◇給食センター管理運営事業	127, 165	<ul style="list-style-type: none"> ・女満別学校給食センター管理運営費 ・東藻琴学校給食センター管理運営費 ・学校給食センター運営委員報酬
職員給与費		
◇職員給与費	116, 206	<ul style="list-style-type: none"> ・大空高等学校職員給与費
◇会計年度任用職員費	41, 556	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コーディネーター、教育相談員、社会教育コーディネーターの配置 ・小学校補助教諭、中学校補助教諭 ・高等学校職員、高等学校寄宿舎職員、高校魅力化推進員の配置 ・女満別学校給食センター給食配送車運転手の配置

第2部 学校教育活動に係る反省・評価

1 令和4年度大空町教育推進方針に係る反省・評価

◇令和4年度大空町教育推進方針（学校教育関係分）は、「第2次大空町教育推進計画（令和元～5年度）」の実現を目指すべく、計画内容を具体的・重点化して設定したものである。

◇大空町教育推進方針の末尾の括弧内に、「第2次大空町教育推進計画」に示されている基本目標、施策項目の数字を記し、それとの関わりを明らかにしてある。

5段階評定尺度

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| 5（大変よかった） | 所期の目的に向けた創意工夫や努力があり、成果を上げた。 |
| 4（よかった） | 若干問題はあったが、所期の目的に向けた実績となった。 |
| 3（普通） | 実施はできたが、問題・課題がある。 |
| 2（工夫が必要） | 所期の目的に一部そった形で実施はできたが問題・課題がある。 |
| 1（改善が必要） | 所期の目的には至らず、今後一層の解決や改善努力がいる。 |

※下の表中の【 】及び（ ）内の数値は5段階の評定尺度に基づき幼稚園、各小中高等学校が実施した評価点の平均値である。

令和4年度大空町教育推進方針の反省・評価（学校教育関係分）

1 未来を拓き 生きる力を育てる教育の推進

（基本目標1～施策項目1～7）

【4.05】

〈具体的方策〉

- （1）新学習指導要領の趣旨を踏まえ、適切な教育課程を編成するとともに、教育課程に基づき最大限子ども達の学びを保障できるよう組織的・計画的で質の高い教育活動を推進する。 (4.20)

〈評価〉・コロナの影響で中止や内容変更をせざるを得ない状況が続いたが、工夫により一定の成果を上げることができた。

- ・児童生徒の実態に応じた適切な教育課程を編成するとともに、組織的計画的で質の高い教育活動の推進が概ねできた。

- （2）家庭学習・宿題の内容や分量について、学校全体で共通理解を図り、児童生徒の発達に応じた家庭学習習慣の確立に向け、家庭と連携した実効性のある取組を推進する。

（項目1）

（3.60）

〈評価〉・「ICT機器を活用した家庭学習の充実」については、「何を・どれだけ・どのように」という進捗状況を正確に把握することが難しく、新たな方策や改善策を考える必要がある。

- ・デジタルとアナログのベストマッチのポイントはどこにあるのかなど、新時代の学習方法を早急に構築する必要がある。

- （3）全国学力・学習状況調査結果を分析し、重点化を図った学力向上の取組を推進する等、全教職員による検証改善サイクルを確立する。（項目1） (4.25)

〈評価〉・全国学力学習状況調査やNRTなどの調査結果を授業改善に生かした。
・全教員で全国学力・学習状況調査問題を解き、今求められている力を分析しつつ、ワークショップ形式で対策を講じるサイクルを確立することができた。

(4) 課題設定・課題に正対したまとめの活動、見通す・振り返る活動、自分の考えを発表したりペア・グループで話し合ったりする活動、書くことを取り入れた活動、効果的なICT機器の活用等を通して、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進する。(項目1,2) (3.80)

〈評価〉・個別最適な学び、主体的で対話的な深い学び、その実現のためのICTの積極的活用において実践を積み重ねることができた。
・ICT機器による効果的な活用と教員の共通理解をさらに深める必要がある。

(5) 児童生徒1人1台端末の効果的な活用や教職員のICT活用指導力の向上等に向けた校内研修や遠隔研修の充実を図る。(項目1,5) (4.60)

〈評価〉・ICT推進委員会を中心として、授業における活用研修に取り組んだ。
・1人1台端末の効果的な活用に努め、定期的実践交流や情報交流を行い、教員の指導力向上に資することができた。
・一人一台端末については、ほとんどの生徒が難なく操作できるようになった。また、ロイノートやeライブラリーなど、様々なソフトを活用し、その単元に効果的な学習を進める教員が増えた。
・ICT活用研修は、大変効果的であった。

(6) 「オールオホーツクで学力向上を！」の取組に関わり、ロードマップを活用した授業改善や、「ほっかいどうチャレンジテスト」等による成果検証を進める。(4.00)

〈評価〉・オールオホーツクのロードマップの内容と校内研修をリンクさせたことにより、焦点化した授業改善の取組が行えた。
・チャレンジテストの実施にあたっては、教職員の働き方改革の観点からICTを活用し、負担の軽減が図られている。

(7) 「校内研修プログラム」や「実践事例集」等を活用したり、外部専門家を招聘したりする等、教職員の特別支援教育の理解を深める校内研修を推進する。(項目3) (3.40)

〈評価〉・特別支援コーディネーターを中心とした、特別支援教育研修に積極的に取り組んだ。
・特別支援教育の充実を図るために、「校内研修プログラム」等を活用した教職員研修や町内校・関係機関との連携をさらに深めたい。

(8) 小学校において、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、外国語学習の指導の充実を図る。(項目4) (4.00)

〈評価〉・小中連携した授業改善が進められている。

(9) 中学校において、小学校外国語の内容を踏まえた授業改善を図るとともに、CAN-DOリストの活用により学習到達目標の達成状況を把握する。(項目4) (4.50)

〈評価〉・A L Tの効果的活用と、英語力の育成に向けた授業改善を行うことができた。

・「英検E S G」と「英検I B A」の実施により、小中連携した英語学習への意欲、英語力の向上など効果を期待したい。

(1 0) プログラミング的思考を育む学習活動を教育課程に位置付け、プログラミング教育の充実を図る。(項目5) (3. 60)

〈評価〉・組織的に教育課程を見直し、改善充実を図る必要がある。

(1 1) 児童生徒をネットトラブルの被害者にも加害者にもさせないよう、情報モラル教育の一層の充実を図る。(項目 5, 13) (4. 00)

〈評価〉・ネットトラブル防止についての講話を実施することができた。

・インターネット利用に関するトラブルについて、児童生徒だけでなく家庭への理解に努めている。

・タブレットの持ち帰りやオンライン学習の推進を踏まえ、環境整備や情報モラル教育にもしっかりと取り組んでいく必要がある。

(1 2) キャリア教育の充実を図るため、各学校段階において、児童生徒の発達の段階を踏まえ、「キャリアノート」を活用するなどして、学ぶことと働くことの意義を意識して学習や学校生活等の見通しを立てたり、振り返ったりできる学習活動を推進する。(項目 6) (4. 00)

〈評価〉・小中高連携による「大空町版キャリアノート」を活用した進路学習の系統化と進路指導の関連が図られている。

(1 3) 体験的・問題解決的な学習により、産業界関係者や生徒同士の対話や協議を通して、生徒が自ら考えを広げたり深めたりする学習活動を推進する。(項目 7, 9) (4. 40)

〈評価〉・地域の協力を得て、職場訪問や地域の方の講演などを行うことができ、自らの考えを深める機会を作ることができた。

(1 4) 地域や産業界、企業や大学等と連携した取組の充実を図る。(項目 7) (4. 40)

〈評価〉・産業社会と人間および総合的な探究の時間において、町内外の様々な企業や関係者との交流を実践することができた。

2 学びをひろげる豊かな心と健やかな体の育成

(基本目標 2 ～ 施策項目 8～1 6)

【3. 90】

〈具体的方策〉

(1) 児童生徒の道徳性を養う「考え、議論する道徳」の実現に向け、問題解決的な学習や体験的な学習等を取り入れた授業づくり、教科用図書を効果的に活用した授業づくり等、指導方法の工夫改善を図る校内研修を実施する。(項目 5, 8, 13) (3. 80)

〈評価〉・児童生徒の生活環境は大きく変容してきている。特に「マスクを着けた学校生活」においては、卒業するまで同級生や先生の顔をハッキリと見たことがない

という表情を通じた交流や、大きな声を出すことで生まれてくる学校生活上の「張り合い」という面が乏しく、「察する」「配慮する」「窺う」といった道徳性にも影響が出てくるのではないかと懸念される。

- ・道徳教育が高校では教科化されておらず、学校の教育活動全体で対応することとなっているが、大空マインドを軸に指導の方向性を固めるなど、積極的に教育課程との結びつきを意識することができた。

(2) 「ありがとう」「こんにちは」など、自分から挨拶できる子どもを育てる。
(項目 8) (4.40)

- 〈評価〉・挨拶や時間のけじめなど、日常的な生活習慣の確立に努めた。
・学校と家庭が連携し、しっかりと挨拶ができる児童生徒が育っている。

(3) 幼小中高の教育課程にふるさとを学ぶ学習を位置付け、系統性を踏まえた学習活動を推進する。(項目 6, 9, 11) (3.60)

- 〈評価〉・ふるさと教育では、本物に触れ「もっと知りたい」、「もっと見たい」と意欲を持つ生徒が多くいた。
・小学校での学びを土台に発展させることができるよう、小学校との連携を図る必要がある。

(4) 町の図書館と連携して読書活動の充実を図り、「朝読」「家読」運動を推進し、望ましい読書習慣の定着を図る。(項目10) (4.00)

- 〈評価〉・町の図書館との連携や有志による読み聞かせなど、子供の読書への関心を高める取組が進められてきた。
・図書館司書の巡回により、全ての学校で図書室の環境改善が図られている。
・図書担当者を中心に、道立図書館の職員の意見なども参考にしながら親しみやすい図書室に改善を図った。

(5) 各種体験活動のねらいや意義を明確にし、教育課程に適切に位置付け、各教科との関連を図りながら、学校の教育活動全体を通じた取組を推進する。(項目 9, 11) (4.20)

- 〈評価〉・体験活動を通して各教科との関連を図りながら、活動することができた。

(6) 子供理解支援ツール「ほっと」や「Q-U」、「アセス」等を活用して、いじめ・不登校の早期発見・早期対応に向け、関係機関と連携した取組を推進する。
(項目 8, 13) (4.20)

- 〈評価〉・いじめや不登校の早期発見・早期対応に努めるとともに、教育相談員をはじめ関係機関とも連携を図っている。
・いじめの積極的な認知を行い、生徒が居場所を確保しやすいように関係機関や保護者との連携を行うことができた。

(7) ルールに基づいた電子メディアの適切な利用等、児童生徒の望ましい生活習慣の定着を図るため、学校・家庭・地域が連携・協働し、保護者等を対象とした学習機会や情報の提供などの取組を推進する。(項目 5, 8, 13) (3.80)

〈評価〉・「生活リズムチェックシート」を活用し、その結果を懇談会で保護者と共有することで、基本的な生活習慣の定着を図ってきた。
・家庭でのスマートフォンやゲームの使用時間が長く、保護者と連携しながら改善を図っていききたい。

(8) 新体力テスト等の結果の分析を踏まえ、体育・保健体育の授業改善に取り組むとともに、課題のある種目の実施時期を見直すなど、学校全体で体力・運動能力の向上に向けた検証改善サイクルを確立する。(項目 14) (4.00)

〈評価〉・新体力テストの結果を分析共有し、授業改善に生かすことができた。
・「体力手帳」の活用により児童生徒の体力状況が把握できている。

(9) 学校における体力向上の取組として、「どさん子元気アップチャレンジ」や「オホーツク運動プログラム」の活用を推進するとともに、家庭での運動を奨励するなどして、子どもの体力・運動能力の向上を図る。(項目 14) (3.60)

〈評価〉・縄跳び運動を通して、運動習慣の基礎づくりが継続して行われている。
・全国体力・運動能力テストの分析を踏まえながら、学校として体力向上に向けて取組を計画的に進める必要がある。

(10) 食に関する指導の充実が図られるよう、栄養教諭を中心に全教職員が連携・協力した食育推進体制を整備する。(項目 15) (3.80)

〈評価〉・栄養教諭を中心とした食に関する指導を継続して実施した。今後、さらに充実を図る。
・町全体で肥満傾向に課題がある。栄養教諭を中心とした食育や養護教諭、その他関係機関とも連携を図りながら、児童の健康管理に努める必要がある。

(11) 学校・家庭・地域と連携して「早寝・早起き・朝ごはん」や「ノーゲームデー」など、子どもの基本的な生活習慣(生活リズム)の確立を図る。(項目 16・18) (3.40)

〈評価〉・家庭でのゲームの時間が長いことなど、保護者への啓蒙や連携が必要である。
・就寝時刻や携帯等の使用時間に関しては、特に長期休業中の生活習慣に課題が見られる。

(12) 学校保健委員会を中心として、アレルギー疾患やメンタルヘルス及び感染症の対策など、地域や児童生徒等の実態に応じた効果的な取組を推進する。(項目 16) (4.00)

〈評価〉・学校で新型コロナウイルス感染者が発生した場合や感染対策については町対策本部会議と情報を共有し、感染拡大防止を講じることができた。
・学校保健委員会を中心に組織的に児童生徒の健康の保持、増進を図る必要がある。

3 学びを支える家庭・地域との連携・協働の推進

(基本目標 3 ～ 施策項目 17～19)

【3.99】

〈具体的方策〉

- (1) 自然体験や異年齢・多世代交流などの体験活動の充実を図る。(項目 17) (4.20)
〈評価〉・地域の協力を得た地域学習、体験学習を実施することができた。
・新型コロナウイルスの状況を考慮しつつ、地域学習や異世代交流など、少しずつ実施することができた。
・アフターコロナを見据えた体験的学習の場面や調査的学習活動をでき得る限り再開し、新たな取組にもチャレンジしてきた1年間となった。
- (2) 幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けて、幼小の教員による「スタートカリキュラム」の編成及び教育内容の相互理解につなげる交流会・研修会を推進する。(項目 17, 20) (4.00)
〈評価〉・幼小との連携は交流学習や体験学習、指導者間の打ち合わせなど積極的に実施することができた。
・異校種連携部会を中心に、幼小中高校の連携が図られている。「スタートカリキュラム」に基づき実践が行われている。
・早期の情報交流の実現、スタートカリキュラムの見直しを随時進める必要がある。
- (3) 生活リズムチェックシート等を活用して、子供の家庭での生活実態を把握し、望ましい生活習慣の確立を図る。(項目 1, 18) (3.75)
〈評価〉・児童支援部を中心に、児童の生活アンケートや生徒指導委員会の開催など、生徒指導上の課題解決に向けて組織的に取り組んだ。
・生活リズムチェックシートの活用により、家庭生活における規律化に向け、少しずつ改善がみられている。
- (4) 教育活動に対する保護者や住民の理解及び積極的な参画を促すため、学校ホームページの内容の更新と充実に努める。(項目 19) (4.00)
〈評価〉・ホームページやブログの更新、学校行事(学芸会等)におけるインターネットによる映像配信など、開かれた学校づくりに努めることができた。
・ホームページに加え学校通信とブログで児童の姿と教育活動の意図を発信し続けたことにより、教育活動の理解が深められている。
- (5) 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の機能を生かした「地域とともにある学校」を目指し、活動の充実・推進に努める。(項目 19) (4.00)
〈評価〉・学校運営協議会では、「子どもたちの自己肯定感を育むためにできること」について交流することができ、今後の連携の基盤を確立することができた。
・75周年記念式典では、コロナ禍でも現状の許される限りの式典を挙行し、地域や保護者、生徒にとっても、意義あるものになったと感じている。
・小中一貫・連携教育をめざした方針案を提示し、土台作りに務めてきた。今後は具体性をもって取り組む時期なので、取組に有効な協議会運営を目指す必要がある。

4 学びをつなぐ学校づくりの実現

(基本目標4 ～ 施策項目20～25)

【3.93】

〈具体的方策〉

(1) 幼小接続、小中一貫、中高連携を見据えて、学びの系統性・連続性を踏まえた円滑な連携・接続の在り方などの研究を推進するとともに、異校種間交流及び同校種間交流を推進する。(項目20) (3.40)

- 〈評価〉・小中学校で9年間を見通した、目指す子ども像について意見交流を進めることができた。
- ・特別支援担当教員による小中間の相互訪問を行い、学校間のつながりの充実を図った。
 - ・こども園との連携と比べ、小中学校の連携に課題がある。目標や情報の共有に努めたい。
 - ・小中一貫・連携教育に関しては、小中学校の教諭の意見交流を実施するなど、現状での必要性に応じた活動を実施できた。今後は一貫教育に向けた「接続パイプの本数を増やしていく取組」が肝要である。
 - ・中高連携の観点から「探求学習」と「総合学習」の接点を設けることを考慮していきたい。
 - ・小学校と連携した取組が予定どおりできなかつたため、次年度は9年間を見据えて子どもたちをどう育てるかという視点を小中が共有し、連携しながら取組を進めていきたい。
 - ・小中高の12年間を見据えた学校教育環境づくりを推進する必要がある。

(2) 「共通・一貫・徹底・継続」した取組を基盤に、チーム学校としての包括的な学校改善を推進する。(項目21) (3.80)

- 〈評価〉・公開授業や研究授業、情報共有などを通じて指導力の向上が図られている。
- ・自主研修も含めた校内研修に積極的に取り組んだ。

(3) メンターチームの編成による若手職員や将来のスクールリーダーを継続的に育成する仕組みを構築する。(項目23) (4.00)

- 〈評価〉・教職員研修の取組方法に工夫を重ね、若手とベテランの融合研修に力を注ぐことができた。
- ・教職員間の連携や若手育成など、ベテラン教員もその必要性を理解し、指導助言に積極的に携わっている。
 - ・教職員を中核とした推進策となるような仕組みをさらに検討したい。

(4) 教職員の服務規律の保持のため、不祥事防止に向けた集中的な取組や年間を通じた回復・継続的な取組を推進する。(項目21) (4.00)

- 〈評価〉・教職員の服務規律の保持のため、標語やポスターを職員から募集したほか、教頭を中心に若手教員とともにチームを結成し、セーフティ・ラリーに参加し全員無事故無違反を達成した。
- ・校内研修や資料提供による個別の研修促進、朝の打合せ等における伝達などを積極的に行い、服務規律の保持に力を入れることができた。
 - ・服務規律保持に向けて、より効果的な取組を行う必要がある。

- (5) 大空町アクションプラン及び部活動の在り方に関する方針を踏まえ、学校教育の質を高める環境を構築し、学校における働き方改革を推進する。(項目21) (4.00)
- 〈評価〉・働き方改革については、教頭を中心としたコアチームによる具体的な取組の推進により、大きな成果を上げてきた。
- ・C4t hなどICTを活用した業務改善を進めたが、質の向上への取組が十分でなかった。今後、コアチームを中心とした業務改善に引き続き努めていく。
- (6) 学校安全の3領域(生活・交通・災害)に関する内容を適切に位置付けた危機管理マニュアルを児童生徒や地域等の実態を踏まえて見直すとともに、事故災害を想定した避難訓練の実施や通学路の安全確保に関する取組の充実を図る。(項目22) (4.20)
- 〈評価〉・各校において、特色のある防災教育が推進されている。
- ・危機管理体制の一つとして、職員、保護者、生徒に全体、個別に緊急一斉メール配信ができる環境となっている。
- (7) 大空町学校教育研究会の活動の充実を図るとともに、授業交流を通して開かれた研修を推進する。(項目23) (4.00)
- 〈評価〉・コロナ禍で大空町学校教育研究会の活動が十分にできなかったが、参観日等を通しての実態交流は行うことができた。
- ・公開研修会を開催し、外部講師の飛び込み授業や講演により、読解力向上のための授業スキル等について全員で研修を深めた。
- (8) 高校の特色ある教育を推進する。(項目25) (4.00)
- 〈評価〉・『産業社会と人間』の授業や、公設塾の活動を通じて、特色ある高校教育の推進につなげた。

2 幼稚園・各小中高等学校における反省・評価

幼稚園、各小中高等学校における教育活動は、園やそれぞれの学校で策定している学校(幼稚園)経営計画及び教育課程に基づき展開されている。

また、幼稚園、各小中高等学校においては、年度末に「大空町学校評価システム」に基づいた学校評価(教職員による評価、児童生徒による評価、保護者等学校関係者による評価)を実施し、その結果に基づき次年度に向けた改善がなされている。

幼稚園、各小中高等学校からは、年度末に学校評価結果が報告書として教育委員会へ提出されているので、ここでの報告は割愛する。

第3部 社会教育活動に係る反省・評価

1 令和4年度大空町教育推進方針に係る反省・評価

◇令和4年度大空町教育推進方針（社会教育関係分）は、「第2次大空町教育推進計画（令和元～5年度）」の実現を目指すべく、計画内容を具体的・重点化して設定したものである。

◇大空町教育推進方針の末尾の括弧内に、「第2次大空町教育推進計画」に示されている基本目標、施策項目の数字を記し、それとの関わりを明らかにしてある。

5段階評定尺度

5（大変よかった）	所期の目的に向けた創意工夫や努力があり、成果を上げた。
4（よかった）	若干問題はあったが、所期の目的に向けた実績となった。
3（普通）	実施はできたが、問題・課題がある。
2（工夫が必要）	所期の目的に一部そった形で実施はできたが問題・課題がある。
1（改善が必要）	所期の目的には至らず、今後一層の解決や改善努力がいる。

※下の表中の【 】及び（ ）内の数値は、5段階の評定尺度に基づき実施した評価点の平均値である。

令和4年度大空町教育推進方針の反省・評価（社会教育関係分）

1 未来を拓き 生きる力を育てる教育の推進

（基本目標1～施策項目1～7）

【3.25】

〈具体的方策〉

（1）障がい者福祉施設と連携を図り、町民文化祭など障がい者への文化芸術の鑑賞・体験等の機会の提供を図る。（項目3）（4.00）

〈評価〉・コロナ禍による町民文化祭文化展の代替事業「おおぞら町民作品展」を実施してきたが、コロナ前の規模の開催は3年ぶりとなった。町内障がい者福祉施設の利用者からも作品の出展があり、文化芸術体験機会の提供を図ることができた。

（2）インターネット社会に対応するための情報活用能力を養うICTに関する講座を実施し、情報の適切な収集・判断、創造・発信ができる人材の育成を図る。（項目5）（3.00）

〈評価〉・総合型芸能文化倶楽部「街なかカルチャー教室」において、インターネット社会に対応するための情報活用能力を養うシニア向けスマホ教室を実施し、デジタル社会に対応するための基本的な知識を身に付けることができた。ただし、参加者が固定化している傾向にあり、ニーズを踏まえた改善を検討していく必要がある。

(3) 放課後子どもプラン推進事業など子ども向けの機会や家庭教育支援講座や家庭教育ナビゲーター養成講座など親向けの機会を活用し、情報弱者への情報格差のない適切・効果的な情報提供を図る。(項目5) (3.00)

〈評価〉・就学前の子を持つ親を対象にした子どもの発達段階・年齢に応じた講座を専門家も交えて実施し学習機会の場を提供することで、子どもの健康や食事についても悩み事を話し合うことができた。今後も年齢や発達段階に応じて定期的に実施する必要がある。

(4) 生きる力を育むための自然体験などの本物体験事業や勤労観・職業観を養うための学習機会を通じ、リーダー養成を図る。(項目6) (3.00)

〈評価〉・オホーツク教育局が主催する「ジュニアリーダー研修会」がネイパル北見を会場に開催されたが、参加希望中学生はいなかった。今後は、町内の高校生も踏まえた事業展開を検討していく必要がある。

2 学びを広げる豊かな心と健やかな体の育成

(基本目標2 ～ 施策項目8～16)

【3.20】

〈具体的方策〉

(1) 姉妹都市稲城市と友好町氷川町の児童生徒の交流事業を推進し、異文化を体験しふるさとを愛する心を醸成する。また、様々な交流のあり方を検討していく。

(項目9) (4.00)

〈評価〉・(稲城市) 新型コロナウイルス感染症拡大から参加者の健康・安全面を考慮し、事業を中止とした。代替事業として2月にオンラインによる「ふるさと教育交流」を実施し、小学5年生がICT機器を活用し交流するとともに、互いの市、町を紹介する映像を作成し、学習成果の交換やオンライン交流を実施した。

・(氷川町) 新型コロナウイルス感染症拡大から参加者の方々の健康・安全面を考慮し、事業を中止とした。代替事業として2回の事前学習を行い各校の生徒会同士のオンライン交流事業を実施し、生徒同士の交流を深めた。

(2) ことぶき大学など高齢者団体により園児・児童・生徒へ昔遊びを伝承し、地域への愛着を醸成する。(項目9) (4.00)

〈評価〉・「異世代交流学習活動」として女満別小学校3年生との昔遊びの体験や伝承を行うとともに、ことぶき大学として認定こども園を視察し、次年度以降における園児との交流事業について意見交換を行い、大学自治会内で協議することができた。

(3) 学校と図書館の連携を強化し、生涯にわたって読書を楽しむきっかけを醸成することで、子どもの読書活動推進計画、大空町図書館計画の推進を図る。(項目10) (3.00)

〈評価〉・第4次大空町子どもの読書活動推進計画(R5～9)の策定に向けこれまでの検証を行い事業の見直しを図るために協議を行った。学校連携ネットワークにより、学校図書館と公共図書館との連携を図るとともに、学校図書館司書による朝読の奨励活動や学校図書館協会を通じた教諭向けの研修を実施した。

(4) 放課後子どもプラン推進事業、子ども・地域生活習慣向上プロジェクト事業、網走川流域の会事業により貴重な本物体験を通じて豊かな人間性を培う。(項目11)

(2.00)

〈評価〉・放課後子どもプラン推進事業により、「子どもワールド21」を実施し、平日の放課後や長期休業期間中において、創作・運動・伝統体験活動について地域の指導者から学ぶことで、豊かな感性を育むことができた。しかしながら福祉課が事業主体となる学童保育(放課後児童クラブ)や開催場所となっている小学校や児童センターとの連携不足も浮き彫りになった。令和5年度から国は子ども家庭庁を創設し、相互連携による事業展開を進めるとしていることから、町内における組織的な事業実施方法を検討していく必要がある。

(5) 親子でのスポーツ・レクリエーション体験活動を展開し、親子の絆を深め子どもの体力向上を図る。(項目14)

(3.00)

〈評価〉・ジェットラインマラソンにおいて「親子ではしろう」を実施し参加者が親子の絆を深めるきっかけとなった。

3 学びを支える家庭・地域との連携・協働の推進

(基本目標3～施策項目17～19)

【3.75】

〈具体的方策〉

(1) 親(保護者)を対象とした子どもの発達段階・年齢に応じた家庭の教育力向上のための学習機会の提供を図る。(項目18)

(3.00)

〈評価〉・家庭教育支援講座により、発達段階に即した子育て講座を実施し「教えて、子育てのコツ」と題して、子育ての喜びや困ったことについて、楽しくラクに子育てを続けていくヒントを学習した。また、認定こども園に入園するまでに準備しておいたほうが良いことテーマにグループワークを実施し悩み事を共感しあうことができた。

(2) 親(保護者)が気軽に相談できる環境を醸成する。(項目18)

(4.00)

〈評価〉・「家庭教育ナビゲーター養成研修会」の事業において、講義「入園、入学までにやっておきたいこと～君は君のままでいいんだよ」、ワークショップ「母親について、支配する親について」を実施した。

(3) 関係団体と緊密な連携をとりながら、青少年の健全育成を図り、非行防止と補導を図る。(項目19)

(3.00)

〈評価〉・青少年問題協議会において、いじめや不登校、SNSに起因する犯罪など複雑で多様化する社会背景の問題を共有し、青少年育成指導員会が中心となって新入学時の通学路の交通安全街頭指導や防犯マップの更新・周知を行い、地域で子どもたちをまもるための取り組みを実施した。今後も関係機関との連携を強化して継続した事業展開を図る必要がある。

(4) コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的な推進を図る。(項目 19)

(5.00)

〈評価〉・学校運営協議会に参画し、小中学校が目指すグランドデザインや経営方針の考えを理解することができた。また、地域学校協働活動である「放課後子ども教室」や「学校支援本部事業」についての意見交流の機会を持つことができ、一体的な推進を図るための情報交流が図れた。

4 学びをつなぐ学校づくりの実現

(基本目標 4 ～ 施策項目 20～25)

【3.00】

〈具体的方策〉

(1) 大空町青少年健全育成町民会議を中核として関係組織間の連携融合を図り、地域社会のつながりや支え合いなどの教育力の向上を図る。(項目 22) (3.00)

〈評価〉・青少年問題協議会が策定した青少年健全育成方針を実践するため、青少年の健全育成に係る関係機関の中核的な立場により町内の青少年健全育成活動を支援した。大空町青少年顕彰式を開催し、顕著な活動をした団体や個人を表彰するとともに、児童生徒による意見発表やアトラクションも実施し地域社会のつながりや支え合いの啓発を図った。

(2) 青少年問題協議会を開催し、関係機関との情報共有を図り、子どもを見守る環境づくりに努める。(項目 22) (3.00)

〈評価〉・町長を会長として青少年の非行防止や心身の健全育成を図るため、町全体総合的な機関として総会を開催し、いじめや不登校、SNSに起因する犯罪や薬物など、複雑な社会問題の背景の情報共有を図り、様々な問題について協議をすることができた。

(3) 住民部局と連携した地域防犯・安全マップの更新及び周知を図る。(項目 22) (3.00)

〈評価〉・地域安全マップを更新し、小中学校の児童・生徒への配布、町ホームページ等への掲載と防犯広報活動の徹底、注意喚起に努めることができた。また、今後も引き続き町内の危険個所の情報共有に努め防犯・安全マップの更新を行っていく必要がある。

(4) 防犯パトロール活動、危険な場所の点検、防犯広報活動の徹底を図る。(項目 22)

(3.00)

〈評価〉・青少年健全育成指導員の日常的な活動により、防犯パトロール活動・危険場所の点検を実施することができた。今後も点検結果については関連機関と情報の共有を図り、防犯マップへの更新を行うことで、事故を未然に防ぐ取り組みを進めていく必要がある。

5 学びを活かす地域社会の実現

(基本目標5 ～ 施策項目26～31)

【3.50】

〈具体的方策〉

(1) 学びを通じて得た知識・技術を活用し、地域の指導者として活躍できる仕組みの構築を図る。(項目26) (4.00)

〈評価〉・家庭教育ナビゲーター養成研修会を実施するとともに、体験活動指導者養成事業等をつうじて地域指導者の養成を図ることができた。今後、社会教育事業において活用を検討する必要がある。

(2) 町民ニーズに即した生活課題解決講座など同じ意識を持つ人が集まる場の提供を図る。(項目26) (4.00)

〈評価〉・生涯学習奨励員が主体となり、町民の学習要求を把握しながら「生涯学習講演会」(大家族石田さんちの元気づくり、宇宙の教室)を行い集まる場の提供が図られた。

(3) 地域課題の解決に向けた活動の担い手の育成のため、生涯各期に応じた学習機会の提供を図る。(項目27) (2.00)

〈評価〉・地域課題の解決に応じた学習機会を提供するための、特色のある学習プログラムの周知支援には至らなかった。

(4) 生涯学習の必要性について啓発し、地域活動など社会参画への関心を高める学習情報の発信に努める。(項目26,27) (4.00)

〈評価〉・生涯学習奨励員協議会による地域ニーズに基づく町民大学講座の実施により、生涯学習への関心を高める学習情報の発信ができた。

(5) 社会教育関係団体の育成・支援を強化し、新たな活力をもたらす仕組みの構築を図る。(項目27) (2.00)

〈評価〉・新型ウイルスコロナ感染症の影響もあり、新たな社会教育団体の設立や指導者の養成には至らなかった。

(6) 継続して文化財の保護・保全の取組を進めるとともに、町民が主体となる伝承事業や歴史・文化に関する団体などの活動の支援を図る。(項目29) (4.00)

〈評価〉・元東京農業大学教授や元北見市常呂町学芸員を招へいし、郷土学講座(大空町の自然、土器づくり)を実施することができた。また、郷土資料室特別展(女満別研修会館50年)を町民文化展に併せて実施するとともにホームページを新たに作成し、幅広い層への周知を図ることができた。

(7) 町民が主体となった芸術・文化活動を支援するとともに、大空町青少年育成協会と連携し、興味関心を高めるための優れた芸術・文化を体験できる機会の拡充を図る。

(項目 28)

(4.00)

〈評価〉・町民文化展のコロナ前規模での開催は3年ぶりで、女満別地区、東藻琴地区で開催した。両会場とも郷土資料の出張展示を行い「女満別研修会館50年」をテーマにパネル展も実施した。芸能祭は、観客数や舞台装置を勘案し、両地区合同で実施した。事前の出演者によるプログラム編成会議やリハーサルを行い町民が主体となった舞台効果を演出することができた。今年度は斜網文団協主催で網走ブロック持ち回りの「道民芸術祭」の当番町であったため、町民文化祭と同日開催とし、文化展・芸能祭共に網走ブロック市町（網走市、清里町、斜里町、小清水町）の展示・出演があった。

(8) 町民が気軽にスポーツに親しみ、参加できる機会や場所の提供を図る。(項目 30)

(4.00)

〈評価〉・誰でも気軽に親しむことができるニュースポーツのモルックと普段馴染みのないパラスポーツの体験教室を実施した。各学年の小・中学生同士の交流を図ることができたとともに、小・中学生とスポーツ推進委員の交流を図ることができた。

(9) PDCAサイクルに基づいた評価・改善・事業精査を推進する。(項目 27)

(4.00)

〈評価〉・社会教育中期計画に沿って、評価方法の見直し及び他の計画等との関連性を明確にすることができた。

(10) 社会教育施設の適切な維持管理を行い、「学校施設等施設長寿命化計画(2021~2030)」(個別施設実施計画)に基づく計画的な施設設備の整備を図り、施設の有効利用を促進する。(項目 31)

(3.00)

〈評価〉・指定管理者と連携を図りながら、安全で快適な施設利用の環境を整えるため、計画的営繕や管理受託者の自主事業等により、施設を適切に管理することができた。今後は、社会教育施設の在り方や施設更新や統合などについて検討していく必要がある。

(11) 安全に安心して日常的に取り組めるスポーツ環境の整備を図る。(項目 30)

(4.00)

〈評価〉・すぱーく東藻琴の照明LED化や東藻琴B&G海洋センターのプールの改修及びアリーナの照明LED化を図り環境の整備を図ることができた。

(12) 地域学校協働活動への参加を通じて、少年期から地域への理解と愛着を醸成する。

(項目 27)

(3.00)

〈評価〉・放課後子ども教室の活動を通して、様々な地域指導者と関わり、地域資源を活用した事業に参加することで、少年期から地域への理解と愛着を醸成することができた。

(13) 事業や講座などに参加できない町民への事業参加に向けてのアプローチを実践する。(項目 27) (4.00)

〈評価〉・中期計画重点施策「学びへの参加を促すきっかけづくりの推進」として、講座等に参加できない町民へのアプローチとして、4講座項目を昨年度追加(合計5講座)し、より多くの学習機会を提供できる体制とした。今年度の出前講座の要請はなかったが、自治会女性部研修において、講師依頼のあった「LINEの使い方講座」を実施した。今後も様々な機会を活用し、積極的に進めていく必要がある。町で実施している「まちづくり出前講座」に社会教育の関するコンテンツを登録しアウトリーチできる選択肢を増やすことができた。

(14) 特色のある教育資源、専門的な人材や施設設備など学習資源を有する企業やNPOとの連携を探り、行政だけではできなかった地域課題の解決方策を検討する。(項目 27) (一)

〈評価〉・網走川流域の会等特色のある教育資源、専門的な人材との連携を探る予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため、関連する事業が中止となった。

(15) 社会教育の人的資源を活かしながら、地域の様々な課題を学び解決に向けた行動を起こすことで、地域を担う人材育成を図る。(項目 27) (3.00)

〈評価〉・社会教育任意団体(子ども、青年、女性、文化、スポーツ等)への活動への助言・指導の中で、地域の様々な課題を協議することができた。

2 令和4年度大空町社会教育推進計画に係る反省・評価

第2次大空町教育推進計画の具現化を目指して、令和4年度大空町社会教育推進計画を作成し、下記の枠内で示すように大きく7つの領域で、事業を推進している。

- | | |
|---|-----------------|
| 1 | 生涯学習の振興・社会教育の振興 |
| 2 | 家庭教育・子育て支援事業 |
| 3 | 青少年健全育成事業 |
| 4 | 芸術文化振興事業 |
| 5 | 読書活動の推進 |
| 6 | 保健体育振興事業 |
| 7 | 社会教育施設・設備の充実 |

◇本計画の位置づけ

第2次大空町教育推進計画に基づく、令和4年度に実施する各事業をA（目的やねらい）・P（計画）・D（実施）・S（評価）・I（改善）のマネジメントサイクルの段階ごとに体系的に区分し、事業推進の指標として位置づけている。

◇評価の活用

令和4年度の実績・評価の結果、明らかにされた改善点等を次年度の推進計画の策定に反映させる。

※（一）の記載は事業の中止により評価されていないもの。

令和4年度社会教育事業の反省・評価結果の概要

- 1 生涯学習の振興・社会教育の振興 総合判定 《3. 33》
〈基本目標5 学びを活かす地域社会の実現〉
（施策項目26 生涯学習の振興）
（施策項目27 社会教育の振興）

1 成人教育 [町民の自主的な学習活動を支援する]	【2.50】
---------------------------	---------------

- | |
|---------------------------|
| (1) 生涯学習奨励員協議会事業支援 (2.00) |
| (2) はたちのつどい (3.00) |

《総括的な反省・評価》

- | |
|---|
| (1) 生涯学習奨励員協議会事業支援 |
| ・生涯学習講演会・講座を開催し、「大家族・石田さんちの元気づくり講演会in大空」では、子育てや介護のお話、「宇宙の教室」では、国際宇宙ステーション内のバーチャルツアー、施設の構造や宇宙飛行士の生活、宇宙と大空町とのつながりについて、地磁気観測所の役割、女満別で観測されたオーロラの話、宇宙から見た網走湖や田畑の変化などについてお話しいただいた。今後も町民の生涯学習振興のため、継続した住民の学習要求の把握、事業企画運営を進める必要がある。 |

- ・大空町検定は、第2版(令和元年度改定)を発行して4回目、初版から数えて9回目として実施した。今年度は、はたちのつどいの出席者を対象に実施をし、紙ベースの問題の他、QRコードによりスマートフォンからでも検定を受けられるよう実施した。町広報にて周知したが、検定受検者が1名と昨年度(4名)に引き続き少なかった。今後も生涯学習奨励員協議会と協議し町民の集まる機会を活用し、周知して興味を持っていただくことから始め、引き続きより効果的な実施方法やPR方法を検討する必要がある。

(2) はたちのつどい

- ・民法の一部改正に伴い、成人年齢が引き下げられたため、名称を「はたちのつどい」とした。式典は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、町民の誓い、祝電・メッセージ披露等を省略し、内容を短縮して開催。アトラクションは、「ドット道東 中西拓郎 氏」の講演、ビデオレター(出席者が中学3年生当時の担任に依頼)を行った。参加人数に制限をかけたため、YouTubeライブも併せて実施した。今後も欠席の方への配慮を行う必要がある。

2 高齢者教育 [高齢者が自ら学び、心豊かで健康に過ごし、社会参加できる活動を支援する]

【4.00】

(1) 大空町ことぶき大学 (4.00)

《総括的な反省・評価》

(1) 大空町ことぶき大学

- ・学習や活動を通して教養や能力の習得の場として、また、出会いや交流の場として、高齢者大学を開設した。新型コロナ感染拡大により、中止となった授業もあり計8回実施となった。その中でも対策を講じた中での外部講師の招へいや他町との交流等、コロナ禍に対応した内容で授業を行うことができた。今後も元気で自立した高齢社会づくりと高齢者の生きがいある生活の確保のため、場の提供を進めていく必要がある。

3 各種団体育成(事業) [各種団体の主体的な学習や積極的な地域活動を支援し育成する]

【3.33】

(1) 女性団体への支援 (4.00)

(2) P T A団体への支援 (3.00)

(3) 教育文化合宿誘致団体への支援 (3.00)

《総括的な反省・評価》

(1) 女性団体への支援

- ・「女性研修」として、会員交流も兼ねた近隣施設のバス研修、「女性の集い」として、新町長となった松川町長とのフリートーク、「女性カルチャーセミナー」として、ヨガ講座やしおりづくり、絵手紙講座等コロナ前の活動に徐々に戻ってきた。今後も団体活動を広く会員に周知するための工夫や会の活性化・自立化を促すための支援を継続していく。

(2) P T A団体への支援

- ・広域事業当番「オホーツク東部地区P T A研究大会」を大空町P T A連合会研究大会と併せて開催し、オホーツク管内から113名（YouTube 視聴参加40名含む）の参加があった。「この時代の家庭と子育てに必要なこと」をテーマとして、H B Cラジオ「ファミリー・トーク」パーソナリティ 金子耕式氏を招へいた。今後も活性化を促すための支援を継続していく。

(3) 教育文化合宿誘致団体への支援

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインに基づき、合唱合宿（玉川大学）のみ実施した。合宿誘致活動については、継続して実施した。今後も地域の活性化を図るための取組を支援していく。

4 生涯学習啓発(事業) [町民の学習意欲を喚起するため、情報発信と相談活動を充実する]

【3.50】

(1) 生涯学習関係情報周知 (4.00)

(2) 生涯学習相談 (3.00)

《総括的な反省・評価》

(1) 生涯学習関係情報周知

- ・生涯学習に関わる情報の提供や文化・スポーツ団体の事業報告など、情報の提供を行っている。令和2年度より広報紙面削減により、生涯学習情報のレギュラー掲載が不可となったが、必要情報の精査をし、HPによる情報提供、SNSを活用した情報拡散等も実施できた。今後も引き続き情報の随時提供を進めていく必要がある。

(2) 生涯学習相談

- ・各種学習に関わる相談に随時対応した。今後も生涯学習課内の連携を図り、相談業務や団体支援について、丁寧に対応していく必要がある。

2 家庭教育・子育て支援事業 総合判定《3.80》

〈基本目標5 学びを活かす地域社会の実現〉

(施策項目26 生涯学習の振興)

(施策項目27 社会教育の振興)

1 家庭教育・子育て支援(事業) [行政、関係機関等が連携して、学習資源や情報のネットワーク化に努める]

【3.60】

(1) 家庭教育支援講座 (3.00)

(2) 家庭教育学びカフェ事業 (3.00)

(3) 家庭教育ナビゲーター養成研修会 (4.00)

(4) 家庭教育相談事業 (4.00)

(5) 家庭教育支援ネットワーク充実事業 (4.00)

《総括的な反省・評価》

(1) 家庭教育支援講座

- ・「教えて、子育てのコツ」と題して、毎日、子どもと接する中で、成長や変化に喜びを感じるとともに、つらいことや困ったことについて、楽しく、ラクに、毎日の子育てを続けていくためのヒントを教えていただいた。また、子ども園に入園するまでにやっておいたらいいこと、子どもの食事や健康等についても、悩みごとを交流するグループワークを行った。今後も親（保護者）を対象とした子どもの発達段階・年齢に応じた学習機会の場の提供を図ることが必要である。

(2) 家庭教育学びカフェ事業

- ・北海道教育委員会発行の「家庭教育ハンドブック」を活用し、家庭教育支援講座に併せて実施をした。今後も様々な機会を活用し、情報モラルや健康に対する正しい知識の習得のため、情報教育や健康教育についての情報も提供していく必要がある。

(3) 家庭教育ナビゲーター養成研修会

- ・講義「入園、入学までにやっておきたいこと～君は君のままでいいんだよ」、ワークショップ「講義の学びを活用した交流～母親について、支配する親について」を実施した。今後も家庭教育についての知識を向上させると共に、子育て等に悩む保護者などが気軽に学習・相談できる場を作ることができる人材を育成していく必要がある。

(4) 家庭教育相談事業

- ・家庭教育支援事業や放課後子ども教室に関する相談業務を通し、家庭教育支援や子育てに関するアドバイスを実施した。今後も身近で相談しやすい場を提供し、親（保護者）が気軽に相談できる環境を醸成していく必要がある。

(5) 家庭教育支援ネットワーク充実事業

- ・家庭教育ナビゲーター養成を推進する中で、子育てを支援する関係各課と連携を図ることができた。今後も家庭の教育力向上の見地から、関係各課との連携強化を継続して行っていく必要がある。

2 家庭教育・子育て支援情報の発信 [町民の読書活動や学習活動の促進に努める] **【4.00】**

(1) 各種支援情報の発信 (4.00)

《総括的な反省・評価》

(1) 各種支援情報の発信

- ・家庭教育ナビゲータースキルアップ研修会において北海道教育委員会発行の「家庭教育ハンドブック」を活用し、家庭教育や子育てに関する情報を提供した。今後も様々な機会を活用し、情報を提供していく必要がある。

3 青少年健全育成事業 総合判定《3. 37》

〈基本目標5 学びを活かす地域社会の実現〉

(施策項目26 生涯学習の振興)

(施策項目27 社会教育の振興)

1 少年社会体験活動 [少年少女の健全育成を願い、各種の社会体験活動やリーダー育成に努める] 【3.60】

- (1) 姉妹都市稲城市交流事業支援 (4.00)
- (2) 友好町氷川町交流事業支援 (5.00)
- (3) 放課後子どもプラン推進事業 (2.00)
- (4) 長期休業中の補充的学習サポート事業 (3.00)
- (5) 子ども会への支援 (4.00)

《総括的な反省・評価》

(1) 姉妹都市稲城市交流事業支援

・今年度の人材交流事業は、令和2～3年度に引き続き、中止となったが、昨年度に引き続き、コロナ禍での人材交流として、学校向けのWEBサービス「グーグルクラスルーム」を活用したオンライン形式の交流を実施することができた。昨年度の稲城側の小学校数が多いため、1校あたりの交流時間が短いことが課題となっていたが、今年度は4グループに分かれて3部構成とし、1校あたり交流時間を長くとることができた。また、事前にふるさと教育交流として、総合的な学習の時間を活用し、映像を作成したが、内容はコロナ禍以前に稲城市児童の受入の際に行っていた畑作・酪農体験活動を含めた学習内容であり、児童は貴重な体験を行うことができた。一方の稲城側小学校で作成した映像を「グーグルクラスルーム」上で視聴できたことで、姉妹都市の産業・観光等について知識を深めることができた。次年度に向けて、リアル交流の復活を見据えた準備を関係各位と進めていく必要がある。

(2) 友好町氷川町交流事業支援

・今年度の人材交流事業は、令和2～3年度に引き続き、中止となったが、友好町との人材交流を何とか継続したいとの両町の思いから、Web会議ツール（Zoom）を活用した各校生徒会対象のオンライン交流事業を実施することができた。内容は、互いの町の紹介VTR上映した後、各学校の紹介・出し物として、東藻琴中学校（北海道方言クイズ）、竜北中学校、女満別中学校（アイヌ語クイズ）、氷川中学校（九州方言クイズ）の順で発表を行った。また、生徒会活動の範疇で、12月に2回の事前学習会を実施し、氷川町の産業・観光等の学習、出し物の作成、オンラインリハーサルを行った。次年度に向けて、リアル交流の復活を見据えた準備を関係各位と進めていく必要がある。

(3) 放課後子どもプラン推進事業

- ・通常活動以外の募集を要する事業は、コロナ禍において見合わせたが、概ねの予定どおりの事業を実施することができた。文部科学省所管の本事業（子どもワールド：放課後子ども教室推進事業）は、内閣府所管の放課後子どもプラン推進事業として、厚生労働省所管の放課後児童クラブ（留守家庭対策事業）の登録者全員が子どもワールドの活動に参加することになっており、福祉部局との連携が必須となっているが、のんきっず館（児童館）との連携不足により、一部の放課後児童クラブ登録児童が東藻琴地区の子どもワールドの活動に参加しないことがあった。また、東藻琴小学校との連携不足により、活動で使用する余裕教室等が使用できず活動を中止することがあった。今後は、事業の企画立案から事業運営・連絡調整を行う社会教育コーディネーターが中心となり、連携不足を解消していく必要がある。

(4) 長期休業中の補充的学習サポート事業

- ・サマースクールでは、①科学教室（教育大釧路校：境教授、授業開発ゼミ学生6名）、②運動教室（教育委員会）、③工作教室：（アトリエたねまき：植野氏）ウィンタースクールでは、①科学教室（北見工業大学：原田教授）、②運動教室（スポーツプラザ進化塾：小原）、③仲間づくり教室（ネイパル北見：江藤）を実施した。小学校経由の申し込みも可としていたが、受理までタイムラグがあるため、今回からメールでの申し込みとした。用紙での申し込みと比較し、受け入れ、とりまとめがスムーズであった。参加者定員を30名としたが、上回ったため、講師と調整し受け入れた。次年度も30名以上で対応可能な場合は事前に確認・調整し実施する。配慮の必要な児童に対して、活動内容によっては十分に指導しきれない部分があり、他の児童への影響があった。

(5) 子ども会への支援

- ・斜網地区広域事業「子ども会育成者研修会」を開催し、「子ども会活動で役に立つレクリエーション」の講義・実技を行った。町の子ども対象事業としては、例年東藻琴地区で開催する、スポーツを通じて健全な体力と精神をきたえ、子どもたちの交流を図る「ミニ運動会」はコロナ禍により、中止となったが、例年女満別地区でジュニアリーダー養成研修会の位置づけで開催する、自然科学の素晴らしさ、楽しさなどを体験する「科学フェスティバル」を3年ぶりに開催できた。今後も事業開催に当たっては、コロナ禍に応じたプログラム内容や感染対策等についての支援を行い、子ども会の発展向上と青少年の健全育成を推進する取組を支援していく必要がある。

2 青年社会体験活動 [青年の健全育成を願い、各種の社会体験活動やリーダー育成に努める]

【3.50】

(1) 青年団体への支援 (4.00)

(2) 青年連携組織への支援 (3.00)

《総括的な反省・評価》

(1) 青年団体への支援

- ・ハローサタ事業や新規事業ウォーキングツアーは、大空高校公設塾と連携し、次世代の担い手である高校生にも青年団活動を体験してもらうことができた。自粛をしていた町外青年組織も対象とした交流事業も実施することができた。引き続き、青年自らが魅力ある活動を行うため、効果的な活動のPR方法やリーダー養成の手法等について支援していく必要がある。

(2) 青年連携組織への支援

・メイン事業である道の駅冬まつりに併せて行う「ソリすべり大会」は、定員以上の参加があった。今後も会員主導で企画・運営をすることができるよう支援が必要である。また、異業種の青年組織の横の連携を強化し、町づくりに参画できるような人材養成が必要である。

3 青少年健全育成活動〔青年の健全育成を願い、補導・指導活動や団体との連携活動及び相談事業を行う〕 【3.00】

(1) 青少年問題協議会 (3.00)

(2) 青少年育成指導員会 (3.00)

(3) 青少年健全育成情報提供 (3.00)

《総括的な反省・評価》

(1) 青少年問題協議会

・いじめや不登校、SNSに起因する犯罪、薬物など青少年を取り巻く環境が複雑な現在の状況について、会議で情報共有や様々な課題について協議することができた。引き続き、青少年の健全育成のために関係機関で連携を図る必要がある。

(2) 青少年育成指導員会

・新入学時における通学路の交通安全街頭指導は実施できたが、観光夏祭り、東藻琴地区盆踊り、東藻琴地区神社祭りがコロナ禍において中止となり、巡回指導並びに合同補導活動も併せて中止となった。女満別地区盆踊り、女満別地区神社祭りについては、開催されたが、合同補導活動は行わず、青少年健全育成指導員が巡回指導のみ行った。防犯マップの更新・周知は、青少年育成指導員の個別調査とした結果を反映させたマップを更新し、ホームページ等において更新したことを周知した。また、学校に配付依頼し、小中学生に周知をした。今後も関係機関と連携し、地域で子どもたちを守る体制を強化していく必要がある。

(3) 青少年健全育成情報提供

・オホーツク教育局から発出される不審者情報について、青少年健全育成指導員内で迅速に共有し、防犯パトロールの強化に努めた。今後も引き続き情報共有に努め、今後町内で発生した事案については、防犯マップに記載する等の協議を行う必要がある。

4 芸術・文化振興事業 総合判定 《3. 63》

〈基本目標5 学びを活かす地域社会の実現〉

(施策項目28 芸術文化活動の推進)

(施策項目29 文化財の保存及び活用の推進)

1 芸術・文化振興(事業) [町民の文化活動への参加及び芸術文化鑑賞の拡大を図る] 【3.25】

- (1) 町民文化祭 (4.00)
- (2) 総合型芸能文化倶楽部 (3.00)
- (3) 青少年育成協会事業支援・連携 (3.00)
- (4) 文化団体への支援活動 (3.00)

《総括的な反省・評価》

(1) 町民文化祭

・コロナ前の規模での開催は3年ぶりとなった。文化展は女満別地区、東藻琴地区で開催した。両会場とも郷土資料の出張展示を行った。併せて「女満別研修会館50年」をテーマにパネル展も実施した。コロナ前まで催事として東藻琴地区会場にて実施していた小草女性会の食事バザー、茶道体験は実施せず、陶芸チャリティのみ実施した。令和元年度より出展者数が減少したことで展示が寂しい印象があった。芸能祭は、観客数や舞台装置を勘案し、両地区合同で実施した。事前の出演者によるプログラム編成会議やリハーサルを行った結果、期待通りの舞台効果を演出することができた。今年度は斜網文団協主催で網走ブロック持ち回りの「道民芸術祭」の当番町であったため、町民文化祭と同日開催とし、文化展・芸能祭共に網走ブロック市町(網走市、清里町、斜里町、小清水町)の展示・出演があった。今後も本町文化団体協議会と協働し、芸術・文化活動の推進を図る必要がある。

(2) 総合型芸能文化倶楽部

・「街なかカルチャー教室」(3教室)「女性カルチャーセミナー」(4教室)を実施した。両教室とも新型コロナウイルスの感染拡大により中止となっていた教室を改めて計画し開催した。参加者の多くは会員であり、その他の人は前年度の教室の申込者であった。参加者のアンケート結果や終了後の声をもとに今後もニーズに沿った講座を実施する必要がある。

(3) 青少年育成協会事業支援・連携

・芸術文化を体験できる事業として、コロナ対策を講じて様々な分野の演劇に関する事業を実施することができた。高校演劇祭では、北見市3校・網走市1校演劇部が参加。3月には、指導者養成事業にて指導を行った地域創造派遣演出家による演劇ワークショップ、その後の成果発表会も行った。今後も青少年育成協会の事業と連携して町民に演劇に興味・関心をもってもらえるような取り組みに発展させていくことで芸術文化の振興を図ることが必要である。

(4) 文化団体への支援活動

・コロナ禍において、事業計画をすべて実施することはできなかったが、事業実施の判断するにあたっての支援をすることができた。網走ブロック広域事業である道民芸術祭と併せて町民文化祭も3年ぶりに実施できた。今後も会の活性化を促すための支援を継続していく。

2 文化財等保護・管理活動 [文化財の保護・管理のため調査及び普及活動に努める] 【4.00】

- (1) 文化財保護管理事業 (5.00)
- (2) 文化財保護審議会 (3.00)
- (3) 湿生植物群落保全事業 (4.00)
- (4) 郷土研究団体の支援 (4.00)

《総括的な反省・評価》

(1) 文化財保護管理事業

- ・元東京農業大学教授の伊東氏や大空町郷土歴史・文化保勝会会員である元北見市常呂町学芸員の武田氏を招へいし、郷土学講座（大空町の自然、土器づくり）を実施することができた。また、郷土資料室特別展（女満別研修会館50年）を町民文化展に併せて実施できた。さらにはホームページを新たに作成し、幅広い層への周知を図ることができた。今後も大空町郷土歴史・文化保勝会等有識者の協力を得ながら、町内各施設に点在する郷土資料の整理を進める等遺跡、文化財、郷土資料、各種文献など、後世に残していく作業が必要である。

(2) 文化財保護審議会事業

- ・会議を2回開催し、藻琴山ミズナラ希少個体群保護林の周知、女満別湿生植物群落保全対策の今後の予定、大空町郷土資料の展示・保管方法について協議をすることができた。今後も引き続き、遺跡、文化財、郷土資料、各種文献について、後世に残して協議をしていく必要がある。

(3) 湿生植物群落保全事業

- ・南ヨシ原と北ヨシ原は、湛水状態が継続しがちなため、排水促進が必要であり、ハンノキ・ヤチダモ林などは、現状維持が望ましいが、その具体的な改善方法については、もう少し時間をかけて検討すべきとの検討委員会の見解を元に、現場と水位計データを見ながら具体的な改善方法について検討を継続していく必要がある。

(4) 団体活動への支援・指導

- ・コロナ禍において、事業計画をすべて実施することはできなかったが、今後も会の活性化を促すための支援を継続していく。また、町内施設に点在している郷土資料の整理・精査を協力を得ながら進めていく必要がある。

5 読書活動の推進 総合判定 《4.00》

〈基本目標5 学びを活かす地域社会の実現〉

(施策項目27 社会教育の推進)

(施策項目28 芸術文化活動の推進)

1 図書館活動・・・ 指定管理者への委託事業 [町民の読書活動や学習活動の促進に努める]

【4.00】

- (1) 図書館活動の推進 (4.00)
- (2) 読書普及び利用促進活動 (4.00)

《総括的な反省・評価》

(1) 図書館活動の推進

- ・ 2カ月に1回程度、館長と司書との協議の場を持ち、図書の貸出やレファレンス、読書相談等図書館サービスの一層の向上を積極的に推進できるよう支援することができた。今後も図書館活動の充実を図るための支援を継続する必要がある。今年度で終了となる大空町図書館計画及び子どもの読書活動推進計画の次期計画の策定に向けての支援を行うことができた。

(2) 読書普及び利用促進活動

- ・ 指定管理者のアイディアにより、多くの自主事業を行うなど、図書館の利用拡大に努めている。教育委員会との連携により取り組む事業については、今後も情報を共有するとともに連携を図りながら進めていく必要がある。

6 保健体育振興事業 総合判定 《3.69》

〈基本目標5 学びを活かす地域社会の実現〉

(施策項目30 生涯スポーツの普及・振興)

1 社会体育振興(事業) [各種大会や教室、講座等の開催を通じて町民の健康増進とスポーツに対する関心・意欲を喚起する]

【3.69】

- (1) 町民スポーツイベント(町民ミニバレーボール大会) (4.00)
- (2) 町民スポーツイベント(町民300歳交歓バレーボール大会) (4.00)
- (3) 町民スポーツイベント(スポーツ縁日) (4.00)
- (4) その他スポーツイベント(ジェットラインさわやかマラソン大会) (4.00)
- (5) その他スポーツイベント(もこと山ふきおろしマラソン大会) (4.00)
- (6) スポーツ教室開設事業(少年少女スキー教室) (4.00)
- (7) スポーツ教室開設事業(町民スポーツ体験教室) (4.00)
- (8) スポーツ団体への支援(総合型地域スポーツクラブ) (3.00)
- (9) スポーツ団体への支援(スポーツ協会) (3.00)
- (10) スポーツ団体への支援(スポーツ少年団) (3.00)
- (11) B&G海洋センターとの連携 (4.00)
- (12) 大会派遣及び指導者養成 (3.00)
- (13) スポーツ合宿事業(バレーボール合宿) (4.00)

総括的な反省・評価》

(1) 町民スポーツ大会（町民ミニバレーボール大会）

- ・コロナ前の令和元年度と比較し、8チーム減となった。手軽なミニバレーボールを通じ自治会内の交流及び運動をする機会の提供ができた。東藻琴地区の参加が少ないため、積極的に参加を呼び掛ける必要がある。

(2) 町民スポーツ大会（町民300歳交歓バレーボール大会）

- ・コロナ前の令和元年度と比較し、10チーム減となった。9人制バレーを通じ自治会内の交流及び運動をする機会の提供ができた。参加自治会が固定している状況で、複数チームの参加がなくなり、自治会単独での参加もできなくなっている。

(3) 町民スポーツ大会（スポーツ縁日）

- ・コロナ前の令和元年度と比較し、114人増加となった。観光客や同会場で実施されている他のイベントの参加者・運営者も参加し相乗効果が図れた。今回は、新種目としてモルックを取り入れて実施。新しいスポーツを体験できるようスポーツ推進委員会で種目を選定しながら取り進めていく必要がある。

(4) その他スポーツ大会（ジェットラインさわやかマラソン大会）

- ・昭和62年に第1回目の大会を開催し、36回目を数えた本大会は今年度が最後の大会となった。ゲストランナーに「谷川真理さん」「五郎谷俊さん」を招き開催。大会前日には、ランニング教室（20人参加）を開催。網走警察署からの指導により、道路を通行止めとし開催した。特に低学年や親子の部のランナーの安全が図られ大会もスムーズであった。アトラクションであるお楽しみ抽選会を実施。航空各社等からの協賛品と合わせて、実行委員会が用意した景品を用意した。大会名でもあるジェットラインは、女満別空港を擁する町、また選手が空港と並行して疾走することから名づけられ、スポーツの秋の風物詩として町民の皆様に愛された大会となった。

(5) その他スポーツ大会（もこと山ふきおろしマラソン大会）

- ・開閉会式は行わず、受付を前回より15分長く取り、体調チェックシート提出、参加確認リストバンドの交付を行った。前日受付はなしとした。表彰及び福引抽選会は屋外で実施した。記録証のゴール付近での即時配布は行わず、WEB完走証としてダウンロード可とした。豚汁の配布は行わなかった。他第39回もこと山ふきおろしマラソン大会「新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドライン」に則って開催した。大会運営はスムーズであり、コースについても、市街地の一部区間通行止めとし安全対策を講じた。引き続き、大会運営に協力してもらえる人材の確保が必要である。継続して地域の特色を生かしたマラソン大会としてPRしていく必要がある。

(6) スポーツ教室開設事業（少年少女スキー教室）

- ・冬季休業中に、冬の運動を行う場を提供することができた。技術の向上も図れ、スキー授業に繋がる教室であった。

(7) スポーツ教室開設事業（町民スポーツ体験教室）

- ・誰でも気軽に親しむことができるニュースポーツのモルックと普段馴染みのないパラスポーツの体験教室を実施した。各学年の小・中学生同士の交流を図ることができたとともに、小・中学生とスポーツ推進委員の交流を図ることができた。

(8) スポーツ団体への支援（総合型地域スポーツクラブ）

- ・豊住地域を中心に、旧豊住小学校を拠点にバドミントン、剣道、卓球等様々なスポーツ活動を展開している。地域コミュニティの形成や世代間の交流のため、スポーツ活動の推進の支援を引き続き行っていく必要がある。

(9) スポーツ団体への支援（スポーツ協会）

- ・スポーツ認定員等の指導者育成を支援し、スポーツのさらなる振興を図ることができた。今後も地域のスポーツ振興のための支援をする必要がある。

(10) スポーツ団体への支援（スポーツ少年団）

- ・今後も子どもたちがスポーツに親しむための環境を醸成するために、支援を継続する必要がある。

(11) B & G海洋センターとの連携

- ・社会体育施設の有効活用を図るため、指定管理者と連携を図りながら、施設の適正な維持管理に努めるほか、管理受託者の自主事業である各種教室を継続して支援できた。今後も地域住民の健康づくりや体力向上、豊かな人間づくりを推進するための支援が必要である。

(12) 大会派遣及び指導者養成

- ・本町を代表して、上位大会に出場することで、スポーツ等の振興及び活性化を図ることと、各種指導者を養成することで、競技力等の向上を図るため、引き続き支援する必要がある。

(13) スポーツ合宿事業（バレーボール合宿）

- ・町内の小中学生を対象にクリニックを開催。技術力の向上を図れたことと、指導技術（練習方法）の向上を図ることができた。東藻琴地区（B & G）で受け入れ、宿泊については、道の駅ひがしもことを利用。

7 社会教育施設・設備の充実 総合判定 《3. 35》

〈基本目標5 学びを活かす地域社会の実現〉

(施策項目31 社会教育施設・整備の充実)

1 社会教育施設〔社会教育（体育）施設の有効活用と施設・設備の計画的な整備に取り組む〕

【3.35】

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| (1) 東藻琴農村環境改善センター (3.00) | (10) 女満別武道館 (3.00) |
| (2) 女満別研修会館 (3.00) | (11) 女満別屋外ゲートボール場 (3.00) |
| (3) 女満別伝承館 (3.00) | (12) すぱーく東藻琴 (4.00) |
| (4) 大空町図書館 (5.00) | (13) 女満別艇庫 (3.00) |
| (5) 東藻琴生涯学習センター (4.00) | (14) 東藻琴スキー場 (4.00) |
| (6) ふるさと資料館 (3.00) | (15) 東藻琴多目的運動広場 (4.00) |
| (7) 山園ふるさとセンター (3.00) | (16) 女満別ゲートボールセンター (3.00) |
| (8) 青年館 (3.00) | (17) 東藻琴相撲場 (3.00) |
| (9) 豊住交流センター (3.00) | (18) 東藻琴野球場 (3.00) |
| | (19) 女満別駅前パークゴルフ場 (3.00) |
| | (20) 女満別運動公園 (4.00) |

《総括的な反省・評価》

(1) 東藻琴農村環境改善センター

- 指定管理者と連携を図り、適切な維持管理に努めた。また、コロナ禍に配慮し、主催事業も実施することができた。今後実施設計を行い、「公共施設等総合管理計画」に基づいた「社会教育施設長寿命化計画」により、耐震補強工事等の大規模改修が必要である。

利用者数：（令和3年度：4, 328名）（令和4年度：7, 828名）

(2) 女満別研修会館

- 指定管理者と連携を図り、適切な維持管理に努めた。また、コロナ禍に配慮し、主催事業も実施することができた。今後「公共施設等総合管理計画」に基づいた「社会教育施設長寿命化計画」を推進するため、社会教育施設としてどのような機能・性能が必要となるか検証し、長期的な視点をもって、更新・充実・統廃合・長寿命化・廃止など、具体的な管理方針を検討する必要がある。利用者数（令和3年度：17, 947名）（令和4年度：19, 917名）

※ワクチン集団接種会場として、大会議室及び第1会議室、和室、調理室を利用

(3) 女満別伝承館

- 一昨年度より町直営での施設管理となったことから、運用の検討を行い、職員が定期的に施設を巡回し、適切な維持管理に努めた。今後も施設の有効活用と適切な維持管理を行う必要がある。利用者数（令和3年度：853名）（令和4年度：958名）

(4) 大空町図書館

- ・指定管理者と連携を図り、適切な維持管理に努めた。また、2カ月に1回図書館担当職員と、図書館機能向上に向けた協議の場を持つことができた。その中で、「子どもの読書活動推進計画」「図書館計画」に基づく年次的な環境整備や次期計画の策定に向けての協議をすることができた。また、上記計画と併せて、「公共施設等総合管理計画」に基づいた「社会教育施設長寿命化計画」により、大規模改修を実施することができた。

令和3年度

女満別図書館

(年間利用実績：4,491名、図書貸出数：25,855冊、巡回車：2,009冊)

東藻琴図書館

(年間利用実績：3,264名、図書貸出数：19,830冊、巡回車：1,271冊)

令和4年度

女満別図書館

(年間利用実績：4,583名、図書貸出数：27,602冊、巡回車：1,739冊)

東藻琴図書館

(年間利用実績：3,237名、図書貸出数：19,866冊、巡回車：1,228冊)

(5) 東藻琴生涯学習センター

- ・職員が定期的に施設巡回を行い、適切な維持管理に努めた。昨年度開設した郷土資料室も研究者や学校授業等により利用されている。また、1階・2階の郷土資料室内に防犯カメラを設置することができた。今後も施設内図書館の指定管理者である青少年育成協会と連携を図りながら適正運営を行う必要がある。

利用者数 (令和3年度：342名) (令和4年度：268名)

うち令和4年度 郷土資料室利用者数 1階：104名 2階：72名

(6) ふるさと資料館

- ・郷土資料の保管・展示施設として、職員が定期的に施設巡回を行い、適切な維持管理に努めた。今後他の郷土資料展示・保管施設である女満別研修会館・山園ふるさとセンターと併せて資料の整理を行うと共に、展示・保管の在り方について検討する必要がある。また、「公共施設等総合管理計画」に基づいた「社会教育施設長寿命化計画」を推進するため、社会教育施設としてどのような機能・性能が必要となるか検証し、長期的な視点をもって、更新・充実・統廃合・長寿命化・廃止など、具体的な管理方針を検討する必要がある。

利用者数 (令和3年度：24名) (令和4年度：2名)

(7) 山園ふるさとセンター

- ・郷土資料の保管施設として、職員が定期的に施設巡回を行い、適切な維持管理に努めた。今後他の郷土資料展示・保管施設である女満別研修会館・東藻琴ふるさと資料館と併せて資料の整理を行うと共に、展示・保管の在り方について検討する必要がある。また、「公共施設等総合管理計画」に基づいた「社会教育施設長寿命化計画」を推進するため、社会教育施設としてどのような機能・性能が必要となるか検証し、長期的な視点をもって、更新・充実・統廃合・長寿命化・廃止など、具体的な管理方針を検討する必要がある。

(8) 青年館

- ・町内各青年団体（青年団体協議会、J A 青年部、商工会青年部、盆踊り保存会、よさこい龍舞隊）の活動の場として提供している。職員が定期的に施設巡回を行い、団体と連携を図り適切な維持管理に努めた。今後も施設の有効活用と適切な維持管理を行う必要がある。

利用者数（令和3年度：141名）（令和4年度：294名）

(9) 豊住交流センター

- ・施設の管理を委託しており、地域のスポーツ、会議等で利用されている。また、コロナ以前は、柔道合宿にも利用されており有効活用が図られている。今後も修繕が必要な個所について、委託者と協議の上随時修繕を実施し、円滑な利用に努めていく必要がある。

利用者数（令和3年度：1,363名）（令和4年度：1,815名）

(10) 女満別武道館

- ・弓道、柔道のほか、太鼓の練習などで活用されている。施設については、職員が定期的に施設巡回を行い、適切な維持管理に努めた。今後も施設の有効活用と適切な維持管理を行う必要がある。利用者数（令和3年度：2,455名）（令和4年度：3,209名）

(11) 女満別屋外ゲートボール場

- ・コートや休憩施設については、就労センターが委託業務を請負、管理している。今後も施設の有効活用と適切な維持管理を行う必要がある。

利用者数（令和3年度：623名）（令和4年度：333名）

(12) すばーく東藻琴

- ・施設の管理を委託しており、ゲートボール、野球等で利用されている。今年度懸案としていた照明のLED化を行なった。今後も修繕が必要な個所について、委託者と協議の上随時修繕を実施し、円滑な利用に努めていく必要がある。

利用者数（令和3年度：3,521名）（令和4年度：3,665名）

(13) 女満別艇庫

- ・海洋クラブの活動拠点として利用されている。職員が定期的に施設巡回を行い、適切な維持管理に努めた。今後も施設の有効活用と適切な維持管理を行う必要がある。

利用者数（令和3年度：276名）（令和4年度：252名）

(14) 東藻琴スキー場

- ・ロッジの管理及びスキー場の運営を東藻琴スキー協会に委託しており、東藻琴小学校・大空高校のスキー授業、協会主催のスキー教室等で利用されている。今年度照明の一部のLED化を行なった。今後も委託者と協議の上随時修繕を行い、円滑な利用に努めていく必要がある。

利用者数（令和3年度：1,454名）（令和4年度：1,569名）

(15) 東藻琴多目的運動広場

- ・施設の管理を委託しており、パークゴルフ、野球等で利用されている。今年度パークゴルフティーショット台の一部更新することができた。今後も委託者と協議の上随時修繕を行い、円滑な利用に努めていく必要がある。また、パークゴルフ協会と連携を図り利用者が満足できるコース整備を行っていく必要がある。

利用者数（令和3年度： 6, 424名）（令和4年度：10, 644名）

(16) 女満別ゲートボールセンター

- ・指定管理者と連携を図り、適切な維持管理に努めた。今後「公共施設等総合管理計画」に基づいた「社会教育施設長寿命化計画」を推進するため、社会教育施設としてどのような機能・性能が必要となるか検証し、長期的な視点をもって、更新・充実・統廃合・長寿命化・廃止など、具体的な管理方針を検討する必要がある。

利用者数（令和3年度：1, 999名）（令和4年度：5, 976名）

(17) 東藻琴相撲場

- ・相撲少年団の活動拠点として利用されている。職員が定期的に施設巡回を行い、適切な維持管理に努めた。今後も施設の有効活用と適切な維持管理を行う必要がある。

利用者数（令和3年度：485名）（令和4年度：368名）

(18) 東藻琴野球場

- ・施設の管理を委託しており、主にリトルシニア（中学生）の活動拠点として利用されている。今後も委託者と協議の上随時修繕を行いながら、円滑な利用に努めていく必要がある。

利用者数（令和3年度：2, 015名）（令和4年度：1, 613名）

(19) 女満別駅前パークゴルフ場

- ・施設の管理を委託しており、町民向けに無料開放としている。今後も委託者と協議の上随時修繕を行いながら、円滑な利用に努めていく必要がある。

利用者数（令和3年度： 63名）（令和4年度：270名）

(20) 女満別運動公園

- ・芝生管理は外部委託としており、適正な管理を図っている。芝生化したことにより、多目的運動広場や野球場は、町外からも利用が増え有効活用が図られている。今後も施設の有効活用と適切な維持管理を行う必要がある。

(令和3年度) 野球場：552名 テニスコート：447名 多目的運動広場：560名

(令和4年度) 野球場：3, 500名 テニスコート：490名 多目的運動広場：1, 100名